

令和 6 年度 事業報告書

(P.1～94)

社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会

目次

令和6年度 事業報告	P. 1
主な重点事業	
1 住民支え合い活動づくり事業（市受託事業）	P. 2~3
2 住民支え合い事業	P. 4
3 つどいの場創出支援事業（市受託事業）	P. 5
4 災害ボランティアセンター運営事業	P. 6
5 年末年始 地域ささえあい助成事業	P. 7~8
6 就労体験事業	P. 9
7 生活・就労支援センター運営事業（市受託事業）	P. 10~12
8 生活困窮者生活サポート事業	P. 13~15
9 法人後見事業	P. 16~17
10 日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業）	P. 18~19
11 生活支援相談員等配置事業（県社協受託事業）	P. 20
12 いわき市子育て世帯ヘルパー派遣事業（市受託事業）	P. 21

基本理念「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、
健康で自分らしく暮らせるまち いわき」

◇基本目標1 共に生きる社会をつくるために	P. 22~41
◇基本目標2 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために	P. 41~64
◇基本目標3 健康で自分らしい暮らしをつくるために	P. 65~69
◇組織および組織運営	P. 69~74
◇財源および財務運営	P. 75~77
◇職員体制および職員研修	P. 77~81

関係資料

◇住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況	P. 82
◇住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）	P. 83~84
◇いわき市ボランティア活動助成状況	P. 85
◇社会福祉センター利用状況	P. 86
◇福祉総合相談センター各相談実績報告	P. 87~88
◇生活福祉資金地区別取扱い状況一覧	P. 89
◇ホームヘルプセンター事業実施状況	P. 90
◇会員会費推進状況	P. 91~92
◇福島県共同募金会いわき市共同募金委員会実績	P. 93
◇福島県共同募金会いわき市共同募金委員会 歳末たすけあい募金実績・配分結果	P. 94

令和6年度 事業報告

数年に渡るコロナ禍は、未だ収束には至らないものの、社会や経済の動きも戻りつつある一方で、日常生活に与えた影響は未だ根強く、失業や物価高騰などによる社会的孤立や生活に困窮する世帯等の増加、DVや子どもへの虐待などの問題がより深刻化しているなかで、全国各地で地震や集中豪雨などの自然災害が多発した1年となった。

このような中、令和6年度の事業推進にあたり、いわき市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、地域福祉の中核を担う社会福祉協議会としての使命をはたすべく、第4次地域福祉活動計画（令和3年策定）及び事業方針に掲げる4つの重点項目に則した事業の展開を図ることとし、地域の実情に合わせ関係機関等と連携・協働により工夫を凝らしながら「住民支え合い事業」をはじめ地区協議会が実施する様々な地域福祉事業の展開を図るとともに、特に支援を必要とする「日常生活自立支援事業（あんしんサポート）」や「法人後見事業」、「介護保険サービス事業」等の利用者に対して、切れ目のないサービスの提供に努めました。

また、コロナ禍等においてさらに複合化、複雑化した課題を抱える市民からの相談を真摯に受け止め、関係機関と連携しながら重層的な相談支援を行い、必要に応じて「生活・就労支援センター」や「生活困窮者生活サポート事業」の支援につなげる等、本会の持つ力を十分に活かしながら、組織横断的な体制での相談支援に努めるとともに、課題解決に対応すべく包括的な支援体制とネットワークの構築に努め、本会の基本理念である「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」の実現に向け、取り組みました。

以下、主な重点事業及び第4次地域福祉活動計画に基づく事業実施状況について、報告します。

主な重点事業

1 住民支え合い活動づくり事業（市受託事業）

地域住民や企業など多様な主体による生活支援サービスの充実をめざし、地域で暮らす高齢者をはじめ、子育て世代、子どもや障がい者など何らかの関わりやつながりを必要とする方々にどのような支援が求められているのかを共に考え、できる・やりたい・必要と考える「住民支え合い活動」の創出を支援。

(1) 実施体制

- ア 総括生活支援コーディネーター 1名（地域福祉課）
- イ 地域福祉コーディネーター 13名（市内13圏域の各地区協議会に配置）
- ウ 生活支援コーディネーター 7名（地区保健福祉センター内の地区協議会に配置）

(2) 住民支え合い生活支援サービスの実施

高齢者等が抱えている生活課題や困り事に対応するため、必要な生活支援サービス（ゴミ出し・片付け・電球交換など）を提供し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援

※住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況については、関係資料P82

(3) 担当者会議の実施

- ア 年13回開催
- イ 第2層協議体会議の開催状況に関する情報共有
- ウ 住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認

(4) 第2層協議体の設置・運営

- ア 第2層協議体の設置
13圏域（旧市町村）に設置
- イ 第2層協議体の構成員
20名程度で構成
主な構成員は、行政嘱託員（区長） 民生児童委員 老人クラブ 青年会 婦人会 民間企業 社会福祉法人 協同組合 NPO法人 ボランティアグループ 支え合い活動実践者 行政等
- ウ 第2層協議体の開催状況
年2回から3回開催
※各地区の開催状況は次頁参照

(5) 第2層協議体における取り組み

- ア 住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認
- イ 第3層協議体による支え合い活動の状況確認
- ウ 新たに住民支え合い活動に関心を示す行政区などへの働きかけ

【第2層協議体会議開催状況】

地区名	第15回	第16回	第17回	構成 員数	地区名	第15回	第16回	第17回	構成 員数
平	6月19日	11月26日	3月12日	19	小川	7月31日	3月19日	—	18
小名浜	7月30日	12月25日	3月24日	22	好間	6月28日	11月29日	3月24日	20
勿来	9月4日	12月18日	3月6日	19	三和	6月27日	12月10日	—	17
常磐	7月23日	10月18日	2月28日	22	田人	7月25日	2月21日	—	17
内郷	6月26日	12月11日	3月21日	16	川前	7月26日	3月17日	—	17
四倉	7月30日	12月3日	3月4日	20	久之浜・大久	7月23日 (第14回)	12月10日 (第15回)	3月25日 (第16回)	26
遠野	7月3日 (第16回)	9月25日 (第17回)	2月26日 (第18回)	19	合 計				252

成果

令和6年度は、新たに5地区において第3層協議体を立ち上げることができた。また、第2層協議体会議においては、各地区の実情に合わせた年間テーマを設定し協議を重ねたことで、第3層協議体の新規立ち上げや新たな住民支え合い生活支援サービスの構築に向けて、各団体と情報共有を図ることができた。

一方で、支援を必要としている対象者からの相談だけでなく、民生委員、ケアマネージャー、近隣住民等、対象者を支える支援者側からの相談も多いことから、住民支え合い活動は広く周知され始めていると考えられる。

課題

生活支援サービスの担い手となるサポーターの登録者数が横ばいの状態が続いており、新たな担い手の確保や活動への参加を促す仕組みと育成に力を入れる必要がある。

また、相談件数の減少も見られることから、サービスの周知方法について、地域住民へより認識されるよう情報発信の強化と検討も必要と考えられることから、第2層協議体を通して構成員や地域住民の意見等を収集し、情報発信の在り方を含め地域ごとの課題に応じた柔軟で効果的な支援体制の構築に向けて対応したい。

2 住民支え合い事業

地区協議会に配置の地域福祉コーディネーター（地区職員兼務）が生活支援コーディネーターと連携し、地域住民の生活圏域である行政区・自治会・小学校圏域を指定し、新たな第3層協議体（住民組織）の設置及び支え合い活動を支援。

(1) 事業内容

行政区・自治会・小学校区等における活動

- ア 地域の福祉課題や生活支援ニーズの解決に向けて協議する協議体の設置
- イ 避難行動要支援者マップを作成し、支援対象者の把握や地域資源を確認
- ウ 住民支え合い活動への理解を深めるための研修会の開催
- エ 支え合いサポーターの養成・登録
- オ 日常的な見守りや声掛け、話し相手などの訪問活動
- カ 住民同士の交流の場（つどいの場）の創出と展開
- キ 生活支援（ごみ出し、窓拭き、買物代行等）を実施
- ク その他関係する活動

※住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）については、関係資料P83～P84

成果

つどいの場や民生児童委員協議会定例会、第2層協議体における協議テーマなど、様々な機会で本事業の説明や取り組みに向けた検討を行ったことで、新たに5地区を立ち上げることができた。

また、立ち上げには至らないものの、前向きに検討してもらえた地区もあり、事業に対する理解を深めることができた。

課題

様々な機会で本事業の説明を行い事業の重要性等については理解を得られるものの、新規地区としての立ち上げには至らないこともあることから、地域の関係機関等と連携を図りながら立ち上げに向けた支援を行っていききたい。

また、既存の第3層協議体では、サポーター（担い手）の高齢化が進み、新たな担い手の確保が難しく支援体制の継続が課題となっていることから、活動内容や時間帯の柔軟化など、現役世代や若い世代が参加しやすい環境整備と幅広い世代を巻き込む工夫をしながら、持続可能な支援体制の構築を目指していききたい。

3 つどいの場合創出支援事業（市受託事業）

高齢者を年齢や、身体の状態によって分け隔てることなく、誰もが気軽に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指し、介護予防に役立つ活動を地域の実情に応じて充実させ、人と人とのつながりをとおして、参加者やつどいの場合が継続的に拡大していくような地域づくりを推進。

(1) 実施体制

地域福祉コーディネーター 18 名（市内 13 圏域の各地区協議会に配置）

(2) 実施内容

- ア 地域資源の整理
- イ コーディネート支援（活動プログラムに関する助言・講師派遣調整など）
- ウ つどいの場合サポーターの養成
- エ はたらきかけ支援（新たに活動を検討する地域住民等に対する相談支援など）
- オ 運営支援
- カ 関係機関との情報共有

<地区別実施状況（補助金申請団体）>

地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数	地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数	地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数
平 (64)	1,961 23,806	四倉 (20)	458 3,880	田人 (9)	136 1,357
小名浜 (42)	909 10,081	遠野 (9)	153 1,472	川前 (8)	121 713
勿来 (34)	825 7,387	小川 (12)	212 2,150	久之浜・大久 (7)	147 1,052
常磐 (19)	414 4,781	好間 (16)	267 2,417	合 計 (272)	6,141 64,413
内郷 (23)	442 4,495	三和 (9)	96 822		

（令和 5 年度：266 箇所／5,966 回／60,737 名）

成果

空白地域や地域住民が集まる場の機会等に働きかけを行った結果、新たに 6 団体が活動を開始することができた。また、実施回数及び参加人数も前年比：175 回、3,676 人と増えており、実施地域における事業のさらなる拡充を図ることができた。

課題

住民による自主運営が継続できるよう、各団体の活動内容や課題を把握し、課題解決に向けた支援を行うとともに、つどいの場合の活動がより活性化するように働きかけを行っていきたい。

また、一部の地域では、参加者数の減少も見られることから、関係機関と協働・連携のもと把握に努め地域の特性に応じたサポート体制の強化と整備を図っていきたい。

4 災害ボランティアセンター運営事業

大規模災害時の対応として、全国社会福祉協議会及び福島県社会福祉協議会からの要請に基づき、災害ボランティアセンター運営支援に職員派遣等を行うとともに、本市からの被災地域で活動するボランティアに対してボランティア活動保険の保険料を助成。

また、大規模災害に備え協働型の災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施。

(1) 大規模災害への職員派遣

ア 令和6年能登半島地震災害（石川県）

期間	派遣先	派遣人数
4月1日から7日まで	志賀町社会福祉協議会	1名
4月25日から29日まで 7月5日から11日まで	輪島市社会福祉協議会	1名

イ 令和6年7月25日からの大雨災害（山形県）

期間	派遣先	派遣人数
8月8日から12日まで	戸沢村社会福祉協議会	1名

(2) ボランティア活動保険の助成

助成人数:29人（13,900円）

内訳：能登半島地震：25人（天災・地震保障プラン@500円：12,500円）

山形県大雨災害：4人（基本プラン@350円：1,400円）

(3) 物資等の支援

能登町社会福祉協議会へ温泉入浴車両1台の貸与（11月7日まで）

(4) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日 令和6年11月16日（土）午前8時30分から12時まで

実施内容 ①緊急時職員状況確認メール配信による状況確認

②令和5年9月豪雨災害の振り返り

③新防災倉庫を拠点とした災害ボランティアセンターの設置

参加機関 ・市市民協働部地域振興課地域振興係、災害支援ネットワーク Iwaki

成果

被災地域の災害ボランティアセンター運営支援等において、これまでの被災経験を活かした支援ができた。また、保険料の助成においては、活動者の負担軽減と被災地域でのボランティア活動を促進することができ、ボランティア活動を安心して行える支援につながった。

また、関係機関との協働により、いわき市総合防災訓練の実施に合わせ災害ボランティアセンター設置訓練を行ったことで、職員の災害対応能力の向上につながった。

課題

被災地域の災害ボランティアセンター運営支援等における職員派遣について、派遣できる人材が限られていることから、人材の育成に努めていきたい。

5 年末年始 地域ささえあい助成事業

歳末たすけあい事業の一環として、市内で福祉活動を行う団体を支援し、住民参加による助け合いを促す事業に助成することで福祉活動の活性化を図る。

(1) 対象団体

- ・事業を計画的に遂行できる営利、政治、思想の普及及び宗教活動を目的としない団体
- ・地域福祉の推進及び生活支援を目的とする NPO 法人、ボランティアセンターに登録している団体
- ・住民ささえあい事業の第三層協議体

(2) 対象活動

- ・生活困窮家庭など生活を支援する活動
- ・ひきこもり支援・不登校児のための居場所づくり
- ・要介護者等の見守り支援 など

(3) 助成金額

1 団体あたり 1 事業とし、20 万円以内（千円未満切り捨て）

※法人格を有する団体については、社会福祉法人は申請事業費の 50%、

NPO 法人は申請事業費の 80%を上限とする

(4) 助成決定団体数・助成額

23 団体／合計 1,238,000 円

<助成団体>

	団体名	事業内容	助成額
1	NPO 法人いわき自立生活センター	生活困窮者へ正月用食材の配布	200,000 円
2	いつだれボランティア会	生活困窮者へ弁当の配布	200,000 円
3	城山結いの会	要援護者対象の交流会開催	26,000 円
4	平第 48 区愛結いの会	要援護者への訪問及び弁当配付	79,700 円
5	平愛谷町区内会	要援護者への訪問及び弁当配付	30,500 円
6	永崎区ふれあい会	要援護者への見守り訪問活動	8,000 円
7	神白地区「お互いさま」	要援護者への声掛け訪問活動	11,000 円
8	泉婦人会	要援護者への弁当配付	150,000 円
9	山田ふれあい福祉の会	要援護者への訪問と年賀状送付	43,400 円
10	金山すずらん会	要援護者の訪問活動	100,000 円
11	南台ひまわり会	要援護者対象の交流会開催	38,000 円
12	船尾いきいきサポーター会	要援護者の見守り訪問活動	23,000 円
13	ほほえみの会	要援護者対象の交流会開催	8,000 円
14	斑堂団地自治会	要援護者への訪問及び弁当配付	10,000 円
15	高坂七区二丁目自治会	要援護者への声掛け訪問活動	30,000 円
16	宮 12 区住民支え合い事業	要援護者対象の忘年慰労会	42,000 円
17	高野町 1・2 区（寄っかの会）	要援護者宅の訪問活動	30,000 円

18	21区ニコニコ会	要援護者対象のクリスマス会開催	31,000円
19	関屋・落合ふれあい会	要援護者対象の忘年会と声掛け訪問	39,400円
20	上遠野区結の和会	要援護者への声掛け訪問活動	33,000円
21	田代・沼平地区自治会	要援護者対象のクリスマス会開催	38,000円
22	北二区行政区	要援護者対象の忘年会開催	42,000円
23	椎木平地区	要援護者への訪問及び弁当配付	25,000円
		合 計	1,238,000円

成果

福祉活動を行う団体を支援し、住民参加による助け合いを促す事業に助成することで、福祉活動の活性化を図ることが出来た。

課題

住民参加による福祉活動の活性化を図ることができた一方で、生活困窮者支援やひきこもり支援等を実施する団体等からの申請が少ない状況から、生活・就労支援センター等と連携を図りながら支援団体等への周知を図っていきたい。

6 就労体験事業

引きこもり等の要因により、就労支援や就労準備支援など既存の制度に適應できていない方に対し、就労意欲の向上と社会参加の促進が図られるよう就労体験等の機会を提供し、将来的に就労準備支援事業所の利用や一般就労へのきっかけづくりとなる事を目的として支援。

(1) 事業対象者

生活・就労支援センター等で相談支援を受けた次に該当する者

- ア 市内に居住する生活困窮者
- イ 市内に居住し、本事業の参加を希望する者
- ウ その他、本事業の利用が適当と思われる者

(2) 事業実施内容

月2回程度を想定し、平日の2時間程度で次の作業を行い、1時間500円を作業終了後に支給。

- ア フードバンク食糧品の仕分け
- イ 事務補助（広報紙の仕分け作業等）
- ウ その他、本事業に適当と認める作業

(3) 実施状況

- ア 登録者 3名
利用者 2名（20代 男性）※令和5年5月25日より体験開始
（20代 男性）※令和6年10月17日より体験開始
- イ 作業回数 33回 66時間（延べ）
- ウ 体験スケジュール
 - ・ 体験内容の確認、安全作業の確認
 - ・ 就労体験（フードバンク倉庫の整理、精米・小分けなど）
 - ・ 掃除
 - ・ 振り返り

成果

本事業を継続して利用したことにより、体験開始当初に比べコミュニケーション能力や就労意欲が向上している。また、令和6年度から利用者2人が一緒に活動を開始したことにより、担当者だけでなく、利用者同士でコミュニケーションを取りながら活動することができた。

課題

就労移行支援事業所等、他機関での活動では利用者が緊張や不安により体調不良となることが多く、継続的な利用に至っていない。

利用者のアセスメント、利用者の思いや今後の方向性について確認し、関係機関と連携しながら支援していきたい。

7 生活・就労支援センター運営事業（市受託事業）

就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性やその他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言をするほか、関係機関と連携しながら問題の解決に向けた支援。

(1) 新規相談件数 334 件

ア 月別相談件数（件）

年度	R 6 年度 (A)		R 5 年度 (B)		比較増減 (A) - (B)
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)
相談対応人数	713	—	749	—	△36
うち新規相談	334	46.8	332	44.3	2
うち継続支援	379	53.2	417	55.7	△38
のべ相談対応件数	2,558	—	2,498	—	60

イ 地区別相談件数（件）

地 区	R 6 年度 (A)	R 5 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
平	82	89	△7
小名浜	59	59	0
勿来	35	41	△6
常磐	27	22	5
内郷	27	36	△9
四倉	13	11	2
遠野	2	1	1
小川	10	6	4
好間	25	13	12
三和	6	2	4
田人	1	0	1
川前	2	1	1
久之浜・大久	6	1	5
市外	3	4	△1
その他（不明を含む）	36	46	△10
合 計	334	332	2

ウ 男女の別（人）

	R 6 年度		R 5 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男	204	61.0	209	63.0
女	130	39.0	123	37.0
合 計	334	—	332	—

エ 年代別の人数と割合

	R 6 年度		R 5 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
10代	2	0.6	3	0.9
20代	31	9.3	31	9.3
30代	39	11.7	45	13.6
40代	55	16.5	64	19.3
50代	73	21.9	66	19.6
60代以上	118	35.3	89	26.8
不明	16	4.8	34	10.2
合 計	334	—	332	—

オ 相談内容（国への月次報告実績）※内容の重複

内容	R 6 年度		R 5 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
病気や健康、障がい	103	10.0	75	8.4
住まい	98	9.6	94	10.5
収入、生活費	213	20.8	211	23.7
家賃、ローン	87	8.5	71	8.0
仕事探し、仕事上のトラブル	198	19.3	170	19.1
引きこもり、不登校	15	1.5	16	1.8
その他(税の支払い、家族関係等)	311	30.3	255	28.6
合 計	1,025	—	892	—

カ 支援の状況（件）

		R 6 年度	R 5 年度
プラン作成数（再プラン含む）		145	91
継続支援件数		152	114
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		56	68
法に基づく事業等	住居確保給付金	14	23
	一時生活支援事業	19	21
	家計改善支援事業	2	0
	就労準備支援事業	1	0

利用	認定就労訓練事業	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	64	66
その他	生活福祉資金による貸付	3	5
	生活保護受給者等就労自立促進事業	36	36
	子どもの学習環境整備事業	12	4
一般就労者総数		87	57
相談者の内、収入が増えた方		6	8

キ 支援調整会議の開催

支援を要する方に対し、適切な支援を行うため、現状把握、アセスメント、支援体制の確立及び関係機関との調整と役割分担、また地域資源のネットワーク化を行うことを目的に開催。

- (ア) 開催状況 12回（毎月1回）
- (イ) 内 容 プラン作成 145 件、プラン終結 101 件（累計）
- (ウ) 構成メンバー いわき市、家計改善支援員、NPO 法人明日飛子ども自立の里、いわき公共職業安定所、指定就労支援事業所、本会

(2) 本事業に関わる職員の役割

- ア 主任相談支援員（1名）：相談支援内容及び進捗状況確認、助言、指導等のマネジメント
- イ 相談支援員（3名）：アセスメント、プランの作成、支援調整会議、相談支援の実施
- ウ 就労支援員（2名）：就労意欲の喚起を含む支援、履歴書作成指導、就労後の定着支援等

成果

令和6年度の新規相談件数は334件（前年度332件）と、新規相談件数に大きな変化は見られなかったが、プラン作成者数は増加傾向にある。本人へのアセスメントを行った上でプランを作成し、適切な支援を行ったことで、一般就労へつなげることができた。一般就労者総数は前年度と比較して30件増加し、当該世帯の生活状況の改善や自立した生活につなげることができた。

課題

令和6年度の新規相談者のうち、60歳以上の相談が約35%を占めている。老齢年金のみでは、生活できないことから、収入増のため就労を希望するケースが多いものの、高齢者を積極的に雇用する企業は少ない現状にある。このような現状を踏まえ、ハローワークだけでなく民間企業・関係機関等と連携し、多様な雇用機会の確保に努めていきたい。

また、ひきこもりや人間関係の構築が苦手な方などが、一般就労を目指すにあたり、生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上等、就労に向けた準備が不足している現状がある。このような現状を踏まえ、相談者とのアセスメントを重ね、必要に応じて関係機関と連携しながら支援をしていきたい。

8 生活困窮者生活サポート事業

金銭的に困窮し、食糧等の確保ができなくなり日常生活に著しく支障をきたしている方々に、企業・市民等から提供を受けた食糧や生活用品等を提供することで、生活困窮者支援団体等と連携・協働しながら総合的な相談対応を行い、生活の再建と自立に向けた支援。

(1) たすけあいフードバンク事業

生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合会が運営する「コープフードバンク」及び企業・市民等から提供を受けた食糧等を生活困窮世帯及び児童養護施設等へ定期的に給付し、生活の安定や自立支援を行うもの。

ア 生活困窮世帯への給付：27 世帯 () 内は世帯人数の総数

世帯区分	R 6 年度	R 5 年度	比較増減
単身世帯	0 (0)	1 (1)	△ 1 (△ 1)
うち高齢世帯	0 (0)	0 (0)	0 (0)
うち障害者世帯	0 (0)	1 (1)	△ 1 (△ 1)
複数世帯	27 (103)	21 (77)	6 (26)
うち子どもがいる世帯	26 (100)	20 (75)	6 (25)
うちひとり親世帯	21 (77)	17 (60)	4 (17)
うち子どものみ世帯	0 (0)	0 (0)	0 (0)
うち高齢世帯	0 (0)	0 (0)	0 (0)
うち障害者世帯	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	27 (103)	22 (78)	5 (25)

イ 地区別内訳

地区名	世帯数	地区名	世帯数	地区名	世帯数
平	11	四 倉	0	田 人	0
小名浜	3	遠 野	0	川 前	0
勿 来	9	小 川	0	久之浜・大久	0
常 磐	3	好 間	0	合 計	27
内 郷	1	三 和	0		

ウ 児童養護施設等への給付：7 件

(内訳)

児童養護施設いわき育英舎 (3 件)、いわき地域若者サポートステーション (2 件)
いわきふれあいサポート (2 件)

エ 企業・市民等からの寄贈：45 件

(内訳)

・企業・団体：19 件

いわき市再生資源協業組合 (5 件)、ひまわり信用金庫 (2 件)
パンダハウスを育てる会 (1 件)、J A 福島さくらいわき地区女性部 (1 件)
農事組合法人菊田の郷助川農園 (1 件)、
東北電力ネットワーク株式会社いわき電力センター (2 件)、
東北電力 (株) いわき発電技術センター (1 件)、みやぎ生協・コープふくしま (1 件)
株式会社郷邑舎 (1 件)、いわき市千寿荘 (1 件)

- 勿来・田人地域包括支援センター（1件）、（株）サンヘヴン（1件）
- 生活協同組合パルシステム福島（1件）
- ・市民：26件

オ いわき市社会福祉協議会職員内でのフードドライブで集まった食品：133 kg（令和6年度～）

カ いわき市市内フードドライブ支援事業からの食品の受け入れ：127 kg（432点）（令和6年度～）

(2) 一時的食糧等支援事業

食糧がない世帯やライフラインが止まっている世帯に対し、緊急的かつ一時的に食糧及び生活用品等を各地区協議会へ配備し給付を行うことで、当座の生活の安定を図り、当該世帯の自立に向けた就労支援や家計改善支援等につなげ、継続的な支援を行うもの。

ア 支援世帯：115世帯（ ）内は世帯人数の総数

世帯区分	R 6 年度	R 5 年度	比較増減
単身世帯	78 (78)	46 (46)	32 (32)
うち高齢世帯	21 (21)	10 (10)	11 (11)
うち障害者世帯	1 (1)	0 (0)	1 (1)
複数世帯	37 (125)	35 (99)	2 (26)
うち子どもがいる世帯	17 (68)	19 (64)	△2 (4)
うちひとり親世帯	7 (21)	6 (15)	1 (6)
うち高齢世帯	1 (2)	0 (0)	1 (2)
うち障害者世帯	3 (7)	1 (2)	2 (5)
合 計	115 (203)	81 (145)	34 (58)

イ 地区別内訳

地区名	世帯数	地区名	世帯数	地区名	世帯数
平	19	四 倉	4	田 人	0
小名浜	18	遠 野	1	川 前	1
勿 来	11	小 川	1	久之浜・大久	0
常 磐	16	好 間	9	その他	18
内 郷	11	三 和	6	合 計	115

(3) 乳幼児のいる世帯支援事業

粉ミルクや離乳食・紙おむつ等を給付することで、当該世帯の生活状況の把握に努め、子どもの健全な育成と経済的自立や新たな支援の構築を図り、必要な支援につなげるもの。

ア 支援世帯数：8世帯

(4) DV被害者支援事業

DV被害者支援を行う団体と連携し、DV被害者の経済的自立に向けた情報の提供や生活用品等の給付を行うもの。

ア 給付件数：50件

- ・配布物：トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ハンドソープ、洗濯洗剤、柔軟剤、台所洗剤、食品用ラップ、ゴミ袋、生理用品

(5) 就職活動準備支援事業

就職面接用スーツ等が用意できない生活困窮者に対し、スーツや靴等の貸出・支給を行うことで、面接時及び就労後に不利益を被ることが無いよう支援を行うもの。

ア 支援者数： 9名

- ・貸出、支給物：スーツ等貸出7件、シャツ等支給4件、靴貸出4件、靴貸出5件
散髪支援0件

成果

本事業について関係機関や市民への周知が図られたことから、各事業の支援世帯が前年度と比較し増加している。本事業の利用をきっかけとして、支援世帯の生活状況や相談内容を把握し、支援世帯の抱える課題の解決に向けた支援を行うことができた。

また、前年度の課題であった本事業で活用する食糧の確保について、本協議会職員内でのフードドライブの実施や、いわき市庁内フードドライブ支援事業との連携を通し、食糧の確保に努めることができた。

課題

本事業への問合せの内、多くが食糧支援を求める相談であった。その中で、支援を必要とする緊急性の判断や、自立支援へと繋げることができるよう、的確なアセスメントやプランの策定、評価の実施に努めていきたい。

9 法人後見事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が後見人になり、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供。

(1) 事業対象者

いわき市在住で、他に適切な後見人等を得られない者のうち、次のいずれかの要件を満たす者。

- ア 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）の利用者
- イ 市長申し立ての請求を行う者

(2) 令和6年度受任状況

区分（類型）	新規受任数	R7年3月末 受任数
補助（判断能力が不十分な方）	0（0）	1（1）
保佐（判断能力が著しく不十分な方）	0（0）	1（3）
後見（判断能力が全くない方）	1（3）	7（6）
合計	1（3）	9（10）

*（ ）は、前年度実績

(3) 運営委員会の設置及び開催状況

後見業務の実施にあたり、受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適切な後見業務を担保するため学識経験者や法律関係者で構成される運営委員会を設置。

ア 委員構成 3名

委員長：鎌田 真理子氏（医療創生大学教養学部地域教養学科 教授）
副委員長：大和田 亮氏（福島県司法書士会いわき支部 司法書士）
委員：金田 康裕氏（福島県弁護士会いわき支部 弁護士）

イ 開催状況

	開催日	主な内容
第1回	令和6年7月12日（金）	・審査済案件の報告10件 ・審査済案件の助言を求めるもの1件 ・新規案件の審査1件

成果

令和6年度の新規受任は1件で、権利擁護・成年後見センターと連携を図りながら円滑な受任に繋げることができた。また、新規受任だけでなく、市民後見人と複数後見を行っていた事案において、生活の安定を図ったうえで、単独受任へ円滑に移行できるよう市民後見人への後方支援を行った。

さらには、単なる財産管理だけでなく、対象者が望む暮らしの確認やその実現のため、定期訪問を行い、丁寧な相談対応に努めた。

課題

市民後見人の単独受任への移行を行ったほか、死亡により終了した事案もあり、受任件数が減となっている。市長申立て件数の増に伴い、本会の法人後見への期待は高まっており、権利擁護・成年後見センターと連携を図りながら新たなケースの受任に努めていきたい。

10 日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業）

判断能力が十分でなくなっている方（認知症高齢者、知的・精神障がい者など）が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などの援助。

(1) 本事業に関わる職員（令和7年4月1日現在）

- ア 専門員 利用者の状況やニーズを把握し、自立支援に向けて適切な援助を行うため
初期相談及び契約の締結、支援計画の作成を行う。（常勤4名）
- イ 生活支援員 専門員が作成する支援計画に基づき、具体的な支援を行う。（非常勤2名）
- ウ 地区協議会職員 初期相談に対応し、専門員が契約するにあたっての調整役を担う。

(2) 相談の状況

(件)

	問い合わせ	初回相談	継続等相談援助	合計
1 認知症高齢者	37	11	1,886	1,934
2 知的障がい者	15	8	790	813
3 精神障がい者	13	9	1,708	1,730
4 不明、その他(身体障がい者他)	19	4	75	98
合 計	84	32	4,459	4,575

(令和5年度： 33件 33件 2,721件 2,787件)

(3) 契約の状況

20件（令和5年度：14件）

(内訳：認知症高齢者9件 知的障がい者3件 精神障がい者8件 その他0件)

(4) 地区別利用者の状況（継続利用者 84名）

(名)

地 区 名	R 6 年度末 (A)	R 5 年度末 (B)	比較増減 (A) - (B)
平	29	22	7
小名浜	10	10	0
勿 来	7	5	2
常 磐	14	14	0
内 郷	15	14	1
四 倉	5	4	1
遠 野	1	1	0
小 川	0	1	△1
好 間	0	2	△2
三 和	1	0	1
久之浜・久	2	1	1
合 計	84	74	10

(5) 関係機関・団体等への制度周知（講師派遣） なし

成果

専門員の増員により、遅滞していた新規ケースが解消され、新規契約件数の増、相談援助件数の増につながった。

また、既存ケースについて、生活支援員との関わりを楽しみにしている利用者もあり、日常の困りごとを相談しやすくなり生活支援員が相談役となるような関係性が築けている。さらには、福祉サービスの利用援助により、利用者の安心安全な生活につながった。

課題

生活保護受給者のケースが多く、訴えの強い利用者に対して生活が破綻しないよう支援に努めたが、提案・助言の立場では支援に限界があり、地区保健福祉センターのケースワーカーと、さらなる連携を図り、指導的立場から協力を得る必要がある。

また、利用者が望む地域での暮らしを支援していく中で、孤独死や地域でのトラブルを懸念し、地域住民から「施設へ入所してほしい」等の声が挙げられるなど、認知症や障がい有する方が地域で暮らし続けるためには、地域住民への理解促進が必要である。

さらには、新規相談は増えているが、本事業に対して適切な制度の理解が不足しており、契約に至らないケースも多いことから、実施主体である福島県社会福祉協議会とも連携を図りながら、関係機関に対する事業の周知も引き続き行っていきたい。

11 生活支援相談員等配置事業（県社協受託事業）

被災者の生活復興支援のため平成 23 年 7 月から生活支援相談員を配置し、災害公営住宅等における見守り、相談、福祉制度の情報提供、被災者を中心とした交流の場づくり等を行うとともに、令和 4 年度からは、福島県社協において、避難者地域支援コーディネーターが新設され、本会では生活支援相談員と併せて配置し、復興公営住宅団地の見守り支援等を行ってきた。

令和 5 年 4 月 12 日に福島県社協と本会及び避難元 5 社協（楡葉、富岡、大熊、双葉、浪江町）と「避難者地域支援コーディネーター」活動の一元化に係る協定の締結を行い、本会を拠点に「社協連携避難者支援センターいわき」を開設し、「地域支援」と「見守り強化」に向けた取組みを行った。

1 避難者地域支援コーディネーター配置状況 2 名（生活支援相談員と兼務）

2 生活支援相談員取組み状況（個別支援）

- (1) 対象世帯数：12 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
- (2) 訪問状況：56 件（事業開始から延べ件数 143,983 件）
- (3) 交流会実施回数：3 回（事業開始からの開催回数 1,641 回）
- (4) 交流会参加人数：63 名（事業開始からの参加人数 27,194 名）
- (5) 避難元 5 社協と連携した復興公営住宅への訪問状況：253 件

3 避難者地域支援コーディネーター取組み状況（地域支援）※一元化事業業務

- (1) 復興公営住宅団地集会所を利用した定期的な居場所作りと地域との交流
 - ア 集会所開放「よらっせ」
 - ・実施回数：154 回
 - ・参加人数：865 名
 - イ 地域との交流事業（農業体験）
 - ・実施回数：14 回
 - ・参加人数：557 名
- (2) ふれあいだよりの発行：20,388 部
- (3) 地区協議会や関係団体等との情報交換会：6 回

成果

避難元の民生児童委員協議会や生活支援相談員と復興公営住宅が立地する地域の民生児童委員協議会との情報共有の場を設け、お互いの活動について理解し、連携協働した見守り支援体制についての一助となった。

また、避難者地域支援コーディネーターが地区協議会や地域で実施しているサロン等に顔出し、集会所開放「よらっせ」の周知や本センターの活動内容について説明することにより、つどいの場の立ち上げや地域住民が「よらっせ」に参加し団地住民と交流を図ることができた。

課題

避難者地域支援コーディネーターの活動について、集会所開放が主軸となっているが、今後は、各団地の現状や課題を整理しながら、団地ごとの支援方針を作成し、団地が立地する地域との交流づくりに努めていきたい。

12 いわき市子育て世帯ヘルパー派遣事業（市受託事業）

いわき市では、令和5年度6月より家事・育児に対し不安や負担を抱える児童等がいる家庭に対し、ホームヘルパーを派遣する子育て世帯ヘルパー派遣事業を実施することとなり、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児などの支援を実施することで家庭環境や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりの未然防止や、児童の負担軽減を図り、家庭における児童の健全な育成に資することを目的として実施。

(1) 対象者

次のいずれかに該当する家庭

ア 本来本人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている児童が属する家庭

＊対象児童は、要対協の要支援児童に登録又は登録予定

イ その他、市が特に支援が必要と認める児童等がいる家庭

(2) 実施内容

ア 家事支援 食事の準備及び片付け、衣類の洗濯、補修、居室等の清掃、整理整頓、生活必需品の買い物、その他必要と認められる家事援助

イ 育児支援 授乳、食事介助、おむつ、衣類交換、沐浴、入浴介助、兄弟の世話、保育園等送迎支援、その他必要と認められる育児支援

(3) 支援の提供頻度及び期間

ア 支援時間及び回数

1回2時間、週1回を上限

提供時間帯は、原則午前7時から午後8時まで

イ 支援期間

利用は対象者からの申込みにより決定し、支援期間は最初の支援開始から6ヵ月以内
支援期間終了後も支援の継続が必要と市が認めた場合は、さらに6ヵ月の延長

＊最長支援期間は設けない。

(4) 令和6年度実績

ア 利用者 3名（6ヵ月支援、さらに6ヵ月支援継続中）

イ 利用回数 令和6年4月から令和7年3月まで 合計49回

ウ 支援内容 居室の清掃、整理整頓等

成果

こども家庭課のコーディネーターや担当地区の保健師と連携を取りながら、定期的な訪問を行い、利用者が希望する支援を行うことができた。

課題

今後、増えていくと思われる派遣要請に対応すべく、人員及び人材の確保に努めていきたい。

基本理念「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」

基本目標 1 共に生きる社会をつくるために

基本計画 1-1 本人の意思の尊重

基本計画 1-2 子ども・子育て支援の充実

実施項目／実施内容

備考

○ 子育てサロン事業

子育て中の方々が子育てに関する情報交換や悩みの共有化を図り、孤立・不安・競争の子育てから、協働・安心・信頼の子育てができるよう、地域の民生児童委員や主任児童委員、ボランティア等と連携し、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりや出会いの場づくりができる子育てサロンの拡充強化に努めた。

地区別実施状況

地区名	実施箇所	実施回数	延べ参加組数	内容
平	8	78	336	季節行事や自由遊び、情報交換等
小名浜	1	28	217	〃
勿来	1	11	120	〃
常磐	1	9	120	〃
内郷	1	11	20	〃
四倉	1	12	41	〃
遠野	1	11	41	〃
小川	2	11	29	〃
好間	1	9	53	〃
田人	1	10	50	〃
久之浜・大久	1	12	52	〃
合計	19	202	1,079	

(令和5年度：182回／1,117組)

成果

子育て中の親子が気軽に集い交流し、子育ての不安や悩み等を話し合うことにより、安心して子育てができるよう環境づくりに努めるとともに、子育てコンシェルジュの参加協力を得て、子育て支援関連の情報提供も行った。

○ 子育てサロン歳末支援事業の推進

歳末たすけあい運動の一環として、各地区協議会主催の子育てサロンで行うクリスマス会の活動に対し、その経費の一部を助成することにより、親子が明るく元気に歳末時期を過ごせるよう支援した。

・事業実績 424名（令和5年度：419名）

成果

各地区で実施している子育てサロンの参加者から、子どもの成長や、保護者同士のつながりを得ることができたとの喜びの声が聞かれた。

○ **地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）※市受託事業**

親子のふれあいと、父母等、子ども同士が気軽に交流できる場とするとともに、子育てに関する悩みや不安等の相談に応じ、市内の子育て支援関連の情報提供などに努めた。

・年間利用者数

大人	子ども	合 計	育児などに関する相談件数
3,311 名	3,418 名	6,729 名	114 件

（令和 5 年度：6,382 名／相談件数：153 件）

成果

子育て中の親等からの相談に応じ、子育てに関する助言を行うとともに、市内の子育て支援関連の情報提供をすることができた。

○ **生活困窮者生活サポート事業**

再掲
P.13
～15

○ **産前・産後ヘルパー派遣事業 ※市受託事業**

出産後の養育についての支援が必要な妊婦及び保護者並びに養育が必要な児童に対し、産前・産後ヘルパーを派遣することにより、妊娠、出産、育児期における育児不安の解消や心身の不調による育児不安の軽減並びに児童の適切な養育環境の確保を図った。

1 事業対象者

市内に居住し、在宅生活をしている者であって、次の各号に掲げる者のうち、ホームヘルパーの派遣を行うことが、適当であると市長が認めた者

ア 出産後の養育について出産前に支援を行うことが特に必要と認められる妊婦

イ 出産後の家庭訪問その他の手段により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童及び保護者

ウ 保護者に監護させることが不適當であると認められる児童及び保護者

2 支援内容

ア 食事の準備、後片づけ・衣類の洗濯、補修 ・居室等の清掃、整理整頓・買い物

イ その他必要と認められる育児、家事援助

3 利用状況

ア 相談のみ件数 1 件（令和 5 年度 2 件）

イ 利用件数 20 件（令和 5 年度 14 件）

成果 サービス利用者数はわずかに増加傾向、サービス終了後も障がい福祉サービスで利用する世帯もあり、継続した支援につながっている。	
基本計画 1－3 高齢者福祉の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 各種事業の開催（介護予防教室・介護技術講座等） 高齢者の介護が課題となっているなか、介護の問題を社会全体で支えるという視点に立ち、地域住民に対する介護の啓発や介護に関する知識と技術の普及を図るとともに、高齢者を地域で支える活動に資するため開催。 1 介護講座 ○小名浜地区 開催日：令和7年2月20日 場 所：玉川自治会館 参加者：21名 ○三和地区 開催日：令和6年7月17日 場 所：三和ふれあい館 参加者：22名 ○久之浜・大久地区 開催日：令和7年2月20日 場 所：久之浜・大久ふれあい館 参加者：15名	

2 介護予防講座

○勿来地区

男の料理教室

開催日：令和7年2月19日、3月12日

場 所：錦公民館

参加者：延50名

○常磐地区

開催日：令和6年8月～令和7年1月の連続した3ヶ月間

場 所：常磐公民館

参加者：延べ46名

○遠野地区

男の料理教室（新規）

開催日：令和6年6月15日

場 所：入遠野公民館

参加者：10名

成果

参加者同士の交流を深めながら運動機能を高める健康体操を実施し、参加者は継続して運動を行う必要性を学ぶことができた。

また、介護の知識や技術を学ぶことで、不安の解消を図ることができた。

3 高齢者ふれあいの集いの開催

○常磐地区

湯～らり温泉めぐり事業

開催日：令和6年7月から令和7年3月まで（8月・12月・1月の繁忙期は除く）

計12回

場 所：吹の湯、新つた古滝屋、パームスプリング

参加者：延べ236名

○四倉地区

開催日：令和6年10月16日

場 所：蟹洗温泉 太平洋健康センター

参加者：130名

○田人地区

開催日：令和6年10月24日

場 所：田人ふれあい館

参加者：84名

○川前地区 地域高齢者交流事業 開催日：令和6年4月から12月まで 計10回 場 所：川前公民館 参加者：延べ91名 ○久之浜・大久地区 開催日：令和6年10月16日 場 所：久之浜・大久ふれあい館 参加者：80名 成果 体力向上や心身の安定を図ることができ、参加者同士の顔なじみの関係が築けたことにより、生きがいつくりや生活の活発化につなげることができた。	
○ 住居環境整備・補修等サービス事業の実施 歳末たすけあい運動の一環として、援護を必要とする低所得の在宅高齢者単身世帯を対象に、障子張りサービスを提供し、明るくフレッシュな気持ちで新年を迎えられるよう支援するとともに、シルバー人材センターに業務を発注することにより高齢者の雇用創出にも寄与した。 ・事業実績 14件（令和5年度 13件） 成果 新しい障子により明るくフレッシュな気持ちで新年を迎えることができ、ひとり暮らし高齢者の心のケアにつながった。	関係 資料 P.94
○ 介護用防水シート給付事業の推進 歳末たすけあい運動の一環として、常時寝たきりの状態にある在宅高齢者世帯等に対し、民生児童委員の協力のもとに介護用防水シートを給付し、在宅での生活や介護を支援した。 ・給付人数 77名（令和5年度 100名） 成果 給付により、介護者の負担軽減が図られた。	関係 資料 P.94

○ 青少年福祉体験学習事業

1 高齢者疑似体験

加齢にともなう身体的機能と心理的な変化が、日常生活にもたらすさまざまな影響を体験的に理解する機会を提供するため、児童・生徒や地域住民等を対象に高齢者疑似体験セットを無料で貸し出し、高齢者福祉に対する関心と理解の促進に努めた。

- ・貸出件数 体験セット 24件 310セット（令和5年度：27件 368セット）
車椅子 3件 11台 （令和5年度：10件 25台）

2 福祉体験プログラム（福祉講話、手話体験、点字体験）

<福祉講話>

地 区	学校名	開催日	参加人数
常 磐	磐崎中学校	令和6年 9月 5日	110名

<手話体験>

地 区	学校名	開催日	参加人数
平	平第二小学校	令和6年 6月 21日	63名
	赤井小学校	令和6年 9月 13日	49名
	平第一小学校	令和6年 9月 25日	77名
	中央台南中学校	令和6年 9月 26日	15名
	夏井小学校	令和6年 11月 7日	17名
小名浜	小名浜第二小学校	令和6年 6月 11日	70名
	小名浜第一中学校	令和6年 9月 10日	40名
	小名浜第三小学校	令和6年 9月 24日	70名
	小名浜第一小学校	令和6年 12月 9日	56名
	永崎小学校	令和6年 12月 11日	37名
勿来	錦中学校	令和6年 9月 6日	96名
	勿来高校	令和6年 11月 5日	8名
	植田中学校	令和7年 1月 25日	80名
常磐	磐崎中学校	令和6年 9月 3日	118名
	湯本二小学校	令和7年 1月 15日	18名
四倉	四倉小学校	令和6年 6月 17日	51名
	大浦小学校	令和6年 10月 1日	39名
小川	小川小学校	令和7年 1月 16日	24名
好間	好間第一小学校	令和6年 6月 18日	49名

<点字体験>

地 区	学校名	開催日	参加人数
平	赤井小学校	令和6年 10月 25日	49名
	平第二小学校	令和6年 7月 11日	63名
	中央台北小学校	令和6年 12月 13日	38名
小名浜	永崎小学校	令和6年 12月 10日	37名
	小名浜第一小学校	令和7年 2月 18日	57名
	小名浜第二小学校	令和6年 11月 20日	70名
勿来	勿来第二小学校	令和6年 11月 27日	28名
	錦中学校	令和6年 9月 6日	96名
四倉	四倉小学校	令和6年 8月 29日	51名
小川	小川小学校	令和7年 1月 24日	24名

成果

車いすや高齢者疑似体験セットを学校や地域住民等に貸し出すことにより、福祉教育の充実強化と福祉意識の醸成を図ることができた。

また、いわき手話サークル及びいわき点訳グループの方に講師を務めていただき、手話や点字に触れる機会を設けたことにより、障がいのある方への理解を深めることができた。

○ サマーショートボランティアスクール事業

第34回サマーショートボランティアスクールの実施

高校生を対象に、夏休みの期間を利用し市内の福祉施設等で3日間ボランティア体験を行い、今後のボランティア活動への積極的な参加を促すことを目的に実施した。

- ・開 校 式：令和6年7月24日(水)
- ・場 所：いわき市社会福祉センター 5階大会議室
- ・内 容：①「令和6年度能登半島地震～発災から半年経って～」
(石川県輪島市社会福祉協議会の職員－オンライン講話－)
②受入施設オリエンテーション
- ・活 動 期 間：令和6年7月25日から8月19日まで
- ・参加学校数：11校
- ・参加生徒数：58名
- ・協力施設・団体数：28施設・6団体

成果

高校生に、ボランティア活動を通して、ボランティアの意義や、人とのかかわることの楽しさ等を学ぶことで、今後のボランティア活動に積極的な参加を促すことに繋がった。

○ 福祉人材センター協力指定事業 ※県社協受託事業

地域住民に福祉サービスについての啓発を行うとともに、福祉マンパワーの確保対策の推進を図った。

- 1 福島県福祉人材センターが実施する事業への協力・支援の実施
福祉施設等への就労を希望する方に対し、福祉の職場、職種等についての相談会を実施
(1) 場 所：いわき市社会福祉センター
(2) 日 時：毎月第2水曜日(午前10時30分から午後2時30分まで)
- 2 福祉人材センター求職登録の受付及び相談 19件(令和5年度：16件)
- 3 福祉の職場合同就職説明会(年1回)への協力

成果

福祉の仕事に係る広報活動、情報提供を行うことによって、福祉分野への理解や関心を深め、人材不足である福祉の職場への人材確保に努めた。また、県社協人材センター開催による合同就職説明会では、福祉の職場でどのような人材が期待されているかや働きがいなどを聞き取りし、求職者に対してのアピールポイントを共有したほか、求職者からの相談・マッチングに生かすことができた。

○ 介護保険事業

1 居宅介護支援事業

介護保険制度において、多様なサービス提供主体（事業者）による各種の介護サービスが総合的、一体的、効率的に提供されるよう、利用者側のサービス選択を基本に、高齢者とその家族を支援することを目的に実施。

<利用者状況>

利用者 延 1,179 名 (令和 5 年度 1,327 名)

成果

特定事業所加算事業所としての要件を満たしつつ、利用者のサービス選択を重視し、偏りのないサービス計画により、利用者及び介護者や家族を支援した。

関係
資料
P.90

2 施設訪問調査事業の実施

いわき市内における施設入所者の要介護認定更新に係る調査、及びいわき市外からの委託による施設入所者・在宅生活者の要介護認定更新に係る調査の実施。

- ・調査件数 48 件 (いわき市分：23 件 いわき市以外分：25 件)
〔令和 5 年度 115 件 (いわき市分：93 件 いわき市以外分：22 件)〕

成果

いわき市内における施設入所者の要介護認定更新の減少に伴い、調査件数が減少となったが、訪問調査事業の円滑な対応に努めた。

関係
資料
P.90

○ 訪問介護事業

介護保険制度で要介護と認定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、生活支援や身体介護などのサービスを提供。

<訪問介護サービス事業利用状況>

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)				利用者延数 (名)
	生活援助	身体生活	身体介護	合計	
	1,239	217	493	1,949	

(令和 5 年度 2,961 回/364 名)

成果

ホームヘルパーの人員確保が困難な状況にあるなか、特定事業所加算事業所の継続や研修によるホームヘルパーの質の維持向上に努め、積極的に他事業所が参入しない中山間部や困難ケースへの対応に努めた。

関係
資料
P.90

○ 訪問入浴介護事業

介護保険制度で要介護と判定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などのサービスを提供。

<訪問入浴サービス事業利用状況>

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	合計	
	1,491	14	1,505	

(令和5年度 1,641回/383名)

成果

看護師や介護人材の確保に努め、サービスの希薄な中山間地域、医療依存度が高い利用者や末期癌ターミナルの利用者へのサービス提供など、利用者のニーズに対応しながら事業の効率化を図り、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

関係
資料
P.90

○ 予防訪問介護事業

介護保険制度における予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者等の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、家事や入浴、排泄支援などの介護予防サービスを提供。

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)	利用者延数 (名)
	1,140	221

(令和5年度 928回/187名)

成果

サービス提供の制限とヘルパーの減少という厳しい状況のなかで、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

関係
資料
P.90

○ 予防訪問入浴介護事業

介護保険制度における新予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などの介護予防サービスを提供。

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	合計	
	0	0	0	

(令和5年度 0回 / 0名)

関係
資料
P.90

○ ケア会議への参画

1 中地域ケア会議への参画

介護保険制度に基づき、地区保健福祉センターで設置している「中地域ケア会議」へ参画し、関係機関・団体の連携により、高齢者・障がい者・子どもなどが地域で暮らし続ける上での日常的な医療・介護・子育てなどを中心とした諸課題の解決に向けて協議した。

地区名	実施日
平	令和6年 12月 18日
小名浜	令和6年 6月 26日 令和6年 11月 29日
常磐・遠野	令和6年 7月 4日 令和6年 10月 3日 令和7年 2月 27日
内郷・好間・三和	令和6年 8月 24日 令和6年 10月 3日 令和7年 3月 13日
四倉・久之浜大久	令和6年 7月 25日 令和7年 3月 7日
小川・川前	令和6年 8月 2日 令和7年 3月 14日

2 地域ケア会議への参画

地域ケア会議（地域包括支援センター主催）に積極的に参画し、高齢者を地域で支えるための体制づくりに努めた。

<小地域ケア会議>

地区名	実施日
平（第3方部）	令和7年 2月 20日
小名浜（泉地区）	令和6年 7月 23日 令和6年 9月 20日
小名浜（湘南台地区）	令和7年 3月 19日
勿来（根小屋・中岡地区）	令和6年 6月 30日 令和6年 10月 27日 令和7年 1月 19日 令和7年 3月 2日
常磐（上ノ台地区）	令和6年 5月 31日
常磐（関船地区）	令和6年 7月 29日
四倉（狐塚地区）	令和6年 8月 26日

＜個別ケア会議＞

地区名	実施日
平	令和6年 10月 10日
勿来	令和6年 5月 27日 令和6年 5月 30日
遠 野	令和6年 7月 24日 令和6年 9月 20日
好 間	令和7年 3月 13日
久之浜・大久	令和6年 7月 5日

＜ネットワーク会議＞

地区名	会議名	実施日
川前	高齢者等支援ネットワーク連絡会総会	令和6年 6月 28日

成果

地域包括支援センターや関係機関との協働により、高齢者の生活実態や生活支援ニーズを把握することができたことから、今後も課題を分析しながら課題解決に向け取り組んでいく。

基本計画 1－4 障がい者福祉の充実

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.27 ～28
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.28
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.18 ～19
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.16 ～17

○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子のまま同乗できる移送車両を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいがづくり、さらにはリフレッシュを図る等の外出を支援した。(平地区2台、勿来地区1台の合計3台車両を配置)

(1) 利用対象者：いわき市内在住で、次のいずれかに該当する方。

ア 要介護や障がいなどのために車椅子などを使用しなければ移動が困難な方

イ 下肢のケガ等により移動が困難な方

ウ 座位を保てる方

エ 体重100kg以下の方

(2) 利用期間：2日以内 午前8時30分から午後5時まで(月2回)

(3) 利用料：車両の使用については無料。ガソリン代は利用者負担。

(4) 貸出状況

	R 6 年度	R 5 年度	比較増減
平地区車両	212 (92)	247 (92)	△35 (0)
勿来地区車両	134 (47)	108 (59)	26 (△12)
合 計	346 (139)	355 (151)	△9 (△12)

* () は、貸出のうち2日間の利用件数

(5) 地区別利用件数

地 区	R 6 年度	R 5 年度	比較増減
平	103	92	11
小名浜	68	64	4
勿 来	103	76	27
常 磐	9	15	△6
内 郷	21	28	△7
四 倉	11	24	△13
遠 野	0	1	△1
小 川	7	6	1
好 間	3	9	△6
三 和	3	0	3
田 人	13	15	△2
川 前	0	5	△5
久之浜・太久	5	20	△15
合 計	346	355	△9

成果

複数回利用している利用者の減に伴い実績としては減となったが、高齢者や障がい者等の社会参加や生きがいがづくりに寄与することができた。

○ 車椅子貸出事業の実施

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいづくり、さらにはリフレッシュのための外出等、日常生活を支援した。

〈貸出状況〉

・貸出件数 161 件（令和 5 年度：148 件）

成果

通院やレジャー等での活用が増えており、高齢者や障がい者等の社会参加や生きがいづくりに寄与することができた。

また、ケガ等に伴い、一時的な使用で日常生活を送る上での一助になった。

○ 介護保険事業

再掲
P.29
～30

○ 障がい福祉サービス事業（指定居宅介護事業）

介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、障がい者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づき家事や入浴排泄支援など居宅介護サービスを提供。

＜居宅介護サービス事業利用状況＞

対象者 (障がい支援区分認定者)	実施回数（回）			利用者延数 (名)
	生活援助	身体介護	合計	
	293	80	373	69

(令和 5 年度 442 回／72 名)

関係
資料
P.90

成果

他事業所の参入が少ないことや困難ケースが多いなかで、利用者・実施回数ともに若干の減少があったが、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○ 身体障がい者訪問入浴サービス事業

入浴に介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、温泉利用による入浴介護や部分清拭などサービスを提供。

対象者 (65 歳未満の身体障がい者等)	実施回数（回）			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	合計	
	396	4	400	92

(令和 5 年度 587 回／86 名)

関係
資料
P.90

成果

延べ利用者数は増加したが、体調不良や家事都合でキャンセルになったため、実施回数が減少したものの、利用者ニーズの対応の変化に併せたサービスの提供と確保に努めた。

○ 当事者団体活動助成事業（市盲人福祉協会・市腎臓病患者友の会） 当事者団体が実施する事業を支援し、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることを目的に一団体あたり 35,000 円を助成。 ・助成実績 支援団体 2 団体（令和 5 年度 2 団体） 配分総額 70,000 円（令和 5 年度 70,000 円） 成果 当事者団体を支援することにより、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることができた。	
○ 小規模障がい児（者）通所施設等歳末支援事業の実施 歳末たすけあい運動の一環として、いわき市内の小規模障がい児（者）通所施設等が歳末時期に行うクリスマス会等に対し、給食費等の一部を助成することにより、施設利用者が明るく元気に新年を迎えられるよう支援した。 ・事業実績 57 施設 1,577 名（令和 5 年度 57 施設 1,673 名） 成果 小規模施設等が実施する事業への支援をとおり、障がい児・者が歳末時期を仲間とともに楽しく、健やかに過ごすことができた。	関係資料 P.94
○ 各種事業の開催 障がい児・者の余暇活動の場が少ないことや、人と人との交流の場が少ないとの課題を受け、地域住民とともに参加できる活動の場の提供を行った。 ○常磐地区 温かおむすび交流会（新規） 開催日：令和 7 年 1 月 26 日 場 所：いわきゆったり館 内 容：おにぎり・豚汁の調理 参加者：11 名 成果 障がい児・者の余暇活動の充実が図られるとともに、障がい児・者と地域住民の相互理解により、支え合いの地域づくりのきっかけとなった。	
基本計画 1－5 生活困窮者対策の充実（所得、就労、住居など）	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3

○ 福祉総合相談事業

地域住民の日常生活におけるさまざまな問題やニーズに対し、助言・指導や専門機関への紹介等を行い、地域住民の生活不安等の問題解決や福祉の増進に努めた。

1 相談状況

開設相談	開設 延日数	利用者			相 談 件 数	処理状況	
		男	女	計（名）		処理区分	件
○福祉総合相談	243	1,962	1,437	3,399	3,399	解 決	3,203
						継 続	30
						紹 介	166
						そ の 他	0
○法律相談	12	35	38	73	73		
○ボランティア相談	243				81		
○日常生活自立支援 事業相談（あんし んサポート）	243				4,575		
合 計					8,128		

（令和5年度：4,864件）

成果

複合的な困りごとを抱えているケースや、生活に困窮しているケースなどの相談の割合が多く、生活就労支援センターや地区保健福祉センター等の関係機関と連携を図りながら適切な支援を行った。

また、高齢や精神障がい为背景に抱える相談者も多く、丁寧な傾聴に努めることで相談者の心の安定に繋がった。

さらには、相談管理システム Kintone（キントーン）を導入したことにより、貸付の有無や就労センターとの関わり、過去の相談経過などが簡潔に確認出来るようになり、よりスムーズな対応が可能となった。

○ 生活困窮者生活サポート事業

再掲
P.13
～15

○ 児童養護施設歳末支援事業

市内の児童養護施設（いわき育英舎）の子どもたちへ、一般家庭と同様に「お年玉」を支給するとともに、高校を卒業し、就職または進学する子どもたちへ、就職支度費及び進学支度費として、新生活に必要なものを購入するための就職・進学準備金としてお祝金を支給した。

(1) 支給金額

ア お年玉

対象者	支給金額	人数	合計金額
幼児	2,000 円	6（6）	12,000 円（12,000 円）
小学生	3,000 円	9（10）	27,000 円（30,000 円）

関係
資料
P.94

中学生	5,000 円	9 (10)	45,000 円 (50,000 円)
高校・専修学校等	5,000 円	11 (9)	55,000 円 (45,000 円)
合 計		35 (35)	139,000 円 (137,000 円)

イ お祝い金（就職・進学準備金）

対象者	支給金額	人数	合計金額
就職・進学予定者	50,000 円	2 (2)	100,000 円 (100,000 円)

* () は、前年度の実績

ウ 年越し費用（令和5年度より実施）

対象者	支給金額	人数	合計金額
全入所者	1,000 円	35 (35)	27,144 円 (35,000 円)

成果

お年玉を支給することによって、日本の習慣に触れる機会となり、普段購入できないものを購入できる喜びを味わい、明るい気持ちでお正月を迎えることができた。また、新社会人等に就職等準備金を支給することによって、就職や進学に必要なスーツ等へ活用することができ、自立への助長となった。

さらに、年越し費用の支給により、普段食べられないような夜食を提供することができ、入所者同士が楽しく団らんしながら新たな年を迎えることができた。

○ **七五三お祝い支援事業**

生活に困窮する世帯の子どもたちを対象に、子どもの成長を祝う日本の伝統行事である「七五三お祝い」に触れる機会の確保と、子どもたちが心豊かに健全に育っていくための一助になることを目的に iwaki ヘアメイクアカデミー等の協力を得て実施した。

- ・ 開催日 令和6年12月14日（土）
- ・ 場 所 飯野八幡宮
- ・ 内 容 「学校法人 iwaki ヘアメイクアカデミー」講師及び学生の協力により着付け・ヘアメイクを行う。飯野八幡宮内で写真館を運営している「nenrin」の協力により写真撮影を行い、アルバム作成し記念品として贈呈する。
飯野八幡宮においてご祈祷を行う。
- ・ 参加人数 2名（児童養護施設いわき育英舎入所児童）

成果

日本の伝統文化である着物を着用し、伝統行事に触れる機会を確保することができ、子どもの健全な育成の一助につながった。

また、iwaki ヘアメイクアカデミー、nenrin、飯野八幡宮と協働により実施したことで、社協の事業の理解と連携を深めることができた。

○ クリスマス支援事業 18歳以下の子どもがいる生活困窮世帯を対象に生活状況の把握と子どもの健全な育成の一助となることを目的に、歳末たすけあい募金の配分事業として、クリスマスケーキと菓子、ローストチキンの配布と生活状況の把握を実施した。 ・ 実施日 令和6年12月24日（火）、25日（水） ・ 配布実績 22世帯 子ども56名 ① 生活困窮者生活サポート事業 利用世帯 12世帯・子ども31名 ② 自立相談支援事業 利用世帯 1世帯・子ども1名 ③ いわきふれあいサポート 支援世帯 4世帯・子ども7名 ④ 市支援対象児童等見守り強化事業 利用世帯 5世帯・子ども17名 成果 経済的な理由からクリスマスケーキを諦めていた世帯もあり、家族で楽しい思い出を作ることができ、子どもの健全な育成の一助につながった。	関係資料 P.94
○ 親子ふれあいバスハイク事業 生活に困窮する世帯の子どもたちを対象に、親や祖父母と季節感のある余暇活動を楽しむ機会と子どもたちが心豊かに、健全に育っていくための一助となることを目的に、歳末たすけあい募金の配分事業として実施した。 ・ 開催日 令和7年1月18日（土） ・ 場 所 アクアワールド茨城県大洗水族館 ・ 参加人数 5世帯 12名 - 生活困窮者生活サポート事業利用世帯のうち子どものいる世帯（1世帯・3名） - 子どもの学習環境整備事業利用世帯（3世帯・7名） - NPO ふれあいサポート支援世帯（1世帯・2名） 成果 経済的な理由から家族旅行の経験の乏しい世帯に対し、親子での交流を深めるとともに、生きることの楽しみを感じることにつながり、子どもの健全な育成の一助につながった。 また、親子の関わり方をみることで、日頃の家庭内の様子を知る機会となった。	関係資料 P.94
○ 生活・就労支援センター運営事業 ※市受託事業	再掲 P.10 ～12
○ 生活資金貸付事業 低所得世帯であって、一時的に生活費・医療費・修学費、その他これらに準ずる経費に困窮する世帯に対し、経済的自立の助長あるいはその世帯の生活安定を図るための資金貸付を行った。 1 生活資金貸付状況 ・ 貸付決定件数： 206件（令和5年度：164件） ・ 貸付決定総額： 3,431,540円（令和5年度：3,161,500円）	

＜内訳＞

取扱地区	貸付決定 件数 (件)	貸付決定総額 (円)	取扱地区	貸付決定 件数 (件)	貸付決定総額 (円)
平	102	1,417,000	小 川	0	0
小名浜	42	820,000	好 間	3	113,000
勿 来	23	421,540	三 和	0	0
常 磐	18	450,000	田 人	0	0
内 郷	12	140,000	川 前	0	0
四 倉	5	60,000	久之浜・大久	1	10,000
遠 野	0	0	合 計	206	3,431,540

成果

生活保護受給までの生活費や生活福祉金決定までのつなぎなど、緊急一時的な支援を行うことができた。過去の滞納等により生活福祉資金での対応が難しい世帯や、生活保護受給からの相談が多くなっており、慢性的な困窮が背景にみられることから、本事業だけで相談者を支えるのではなく、関係機関と連携を図り根本的な生活困窮からの脱却に向け支援を行っていききたい。

○ 生活福祉資金貸付事業 ※県社協受託事業

低所得世帯・高齢者世帯・身体障がい者世帯の経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的に低利で資金を貸し付けるとともに、民生児童委員による必要な援助・指導を行った。

1 生活福祉資金貸付状況

- ・ 貸付決定件数：68件（令和5年度：53件）
- ・ 貸付決定総額：11,436,000円（令和5年度：12,271,000円）

成果

生活福祉資金の貸付相談を切り口に、生活困窮に至った経緯を把握し根本的な課題にアプローチしながら解決に向け伴走型の支援を行うことができた。一方で、コロナ特例貸付以降、滞納者が増加しており、新たな貸し付けが難しく本事業だけでは解決しない事案が増えていることから、関係機関と連携を図り引き続き対応にあたっていきたい。

関係
資料
P.89

○ 社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォローアップ支援の実施（新規）

緊急小口資金の特例貸付の借受人（世帯）に対し、社協がこれまで培ってきたソーシャルワーク機能を発揮し、福島県社協及び福島県内市町村社協、関係機関等が連携・協働しながら、フォローアップ支援の実施に努めた。

1 コロナ特例貸付利用世帯への暮らしに関するアンケートの実施 コロナ特例貸付利用世帯に対し、福島県社協が「暮らしに関するアンケート」を送付後、送付した世帯に対し、各市町村社協で架電及び訪問を実施し、アンケート回答の促しと償還状況の確認、生活状況の確認を行った。 ・ 架電件数 611 件 ・ 訪問件数 293 件	
○ 法外援護事業の実施 行路人に対し、いわき市から市外に転出するまでの旅費（交通費）と食糧等を支給。 ・ 令和 6 年度支給実績 16 件、12,200 円（令和 5 年度：15 件、10,500 円） 成果 旅費と一時的な食糧等を支給することにより、市外へ転出するための一助となった。	
○ 生活困窮世帯見舞金配分事業の推進 歳末たすけあい運動の一環として、在宅の生活困窮世帯（生活保護世帯を除く。）が、新たな年を迎えることができるよう支援することを目的に、歳末見舞金を支給した。 ・ 給付実績 468 世帯 900 名 5,976,000 円 （令和 5 年度 460 世帯 920 名 5,980,000 円） * 給付額：1 世帯 10,000 円を基本とし、家族が 1 人増えるごとに 3,000 円を加算。 成果 民生児童委員が友愛訪問を兼ねて見舞金を支給することで、生活困窮世帯が抱えるさまざまな相談も受けるとことができ、対象世帯の心のケアが図られた。	関係 資料 P.94
基本計画 1－6 社会的孤立対策の充実（自殺、ひきこもり、犯罪者の社会復帰）	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 各種事業の開催（地域の居場所づくり等） ○ 勿来地区 地域の居場所づくり（子どものための料理教室／こども食堂） 開催日：毎月、第 3 金曜日 年 12 回 共 催：勿来地区ボランティア連絡会 場 所：勿来公民館 参加者：参加親子 延べ 49 世帯 99 名 ボランティア 延べ 117 名 内 容：カレー作り、季節の料理・デザート作り 協 力：家庭相談員・民生児童委員・一般ボランティア	

成果 子どもたちやその親を対象に定期的に開催することで、見守りや生活支援、自立の助長につながった。また、勿来地区ボランティア連絡会等、関係機関との連携も図ることができた。	
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 子育てサロン事業	再掲 P.22
○ 生活支援相談員等配置事業 ※県社協受託事業	再掲 P.20
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.23
基本計画１－７ 多文化との共生	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.27 ～28
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.28

基本目標２ 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために	
基本計画２－１ 福祉意識の醸成	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3

○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・世代間交流等）

1 ボランティア活動育成

関係機関等の協力のもと、社協職員等が講師を務め、ボランティア活動を推進するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。

○平地区

学生×福祉教育で考える「ふくし」

開催日：令和6年6月から令和6年12月まで

内 容：地域の子育て支援について考える

参加者：12名（東日本国際大学生）

○勿来地区

高校生のためのボランティア講座

開催日：令和6年12月6日、令和7年3月12日

場 所：勿来工業高校、錦公民館

内 容：生活困窮者自立支援事業、地域の見守り・支え合いについて、
フレイル予防について

参加者：13名（勿来工業高校生）

○常磐地区

ふれあい・ともいき映画観賞会（新規）

開催日：令和7年1月26日

場 所：いわきゆったり館

内 容：ドキュメンタリー映画の鑑賞

参加者：46名（地域住民）

○内郷地区

ボランティア講座

開催日：令和6年12月12日

場 所：いわき総合高校

内 容：地域福祉について考えてみよう

参加者：10名（いわき総合高校学生）

ボランティア養成講座

開催日：令和6年11月7日

場 所：総合保健福祉センター

内 容：お互い様の地域づくり

参加者：11名（地域住民）

○四倉地区

ボランティア育成講座

開催日：令和7年1月29日

場 所：四倉商工会館

内 容：よつくら新発見

参加者：19名（地域住民）

○小川地区

地域サポーター養成講座（全3回）

1 開催日：令和6年10月7日

場 所：小川支所

内 容：認知症サポーター養成講座

参加者：13名（地域住民）

2 開催日：令和6年11月27日

場 所：小川支所

内 容：VR認知症疑似体験

参加者：11名（地域住民）

3 開催日：令和7年2月25日

場 所：小川地域活性化センター

内 容：高齢者福祉の現状と課題、電動自転車と電動カート試乗会

○好間地区

ボランティア講座

開催日：令和7年1月16日

場 所：好間公民館

内 容：住民支え合い・住民支え合い活動づくり・つどいの場創出支援事業について
プロに学ぶうちのお掃除

参加者：39名（地域住民）

ふくしの教室（改編）

開催日：令和7年2月7日

場 所：好間公民館

内 容：私たちが知っておきたいふくしのこと・自律神経活性度チェック
推定野菜摂取量ベジチェック・つどいの場について

参加者：34名（地域住民）

○三和地区

ボランティア講座

開催日：令和6年11月13日

場 所：三和ふれあい館

内 容：手話講座

参加者：17 名（地域住民）

○田人地区

ボランティアの養成

開催日：令和 6 年 9 月 25 日

場 所：田人小学校

内 容：高齢者疑似体験・車椅子体験

参加者：11 名（田人小児童）

○久之浜・大久地区

ボランティア研修会

開催日：令和 7 年 1 月 22 日

場 所：久之浜・大久ふれあい館

内 容：生活保護について 入居・入所・葬送等支援事業について

参加者：30 名（地域住民）

成果

各種講座の開催により、認知症への理解や、地域福祉について学ぶことができた。また、ボランティア活動に対する興味や参加へのきっかけづくりとして期待できる。

2 世代間交流事業

児童と高齢者との交流の場を提供し、子どもたちの福祉の心を育むとともに、高齢者の生きがいづくりを目的として開催した。

○内郷地区

防火 de ふれあう

開催日：令和 6 年 11 月 10 日

場 所：内郷消防署

内 容：防火啓発活動・友愛訪問

参加者：62 名（地域住民）

○四倉地区

地域交流事業（全 2 回）

1 開催日：令和 6 年 12 月 24 日、令和 7 年 1 月 25 日

場 所：四倉公民館

内 容：おやこもちつき大会、意見発表会

参加者：親子、地域住民等 延べ 150 名

○遠野地区

多世代交流事業

開催日：令和6年12月21日

場 所：入遠野公民館

内 容：クリスマス会

参加者：42名（親子、地域住民）

○三和地区

敬老交流会

開催日：令和6年11月5日

場 所：三和小・中学校

内 容：昔遊び

参加者：30名（児童、生徒、高齢者）

ふれあい交流会

開催日：令和6年12月17日

場 所：合戸集会所

内 容：世代間の交流

参加者：8名（地域住民）

○田人地区

まなびの里田人交流事業

開催日：令和6年11月29日

場 所：田人ふれあい館・田人小学校

内 容：田人地区老人クラブ連合会と子どもたちとの交流

参加者：72名（地域住民）

○久之浜・大久地区

ひとりぐらし高齢者招待事業

開催日：令和6年11月3日

場 所：久之浜・大久ふれあい館

内 容：公民館祭へ招待し、地域の方との交流

参加者：162名（高齢者）

成果

地域性を活かし、世代間の交流を図り、青少年の福祉意識の醸成と、高齢者の健康増進につなげることができた。

○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.27 ～28
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.28
○ いわき市総合社会福祉大会の開催	
市と共催により、市内の保健・医療・福祉・教育等の関係機関・団体及び一般市民が一堂に会し、広く福祉問題を考え、本市の社会福祉を総合的に高めていくことを目的に開催した。	
＜第 50 回いわき市総合社会福祉大会＞	
開催日	令和 6 年 11 月 20 日（水）
開催場所	いわき芸術文化交流館 アリオス
記念アトラクション	演目：フラダンス 出演：ハウオリ・マルヒア（フラダンスチーム・いわき市）
記念講演	演題：『地域共生社会を目指した社会福祉実践』 講師：ルーテル学院大学／名誉教授 市川 一宏 氏
参加者数	691 名
表彰等	1 市長感謝状贈呈 68 名
	2 大会会長表彰状贈呈 69 名／1 団体
	3 大会会長感謝状贈呈 14 名／2 団体
	合 計 151 名／3 団体
(令和 5 年度：83 名／5 団体)	
(開催までの経過)	
・ 令和 6 年 9 月 9 日 第 50 回いわき市総合社会福祉大会 事務局会議（社会福祉センター）	
・ 令和 6 年 9 月 20 日 第 50 回いわき市総合社会福祉大会 運営委員会 (社会福祉センター)	
・ 令和 6 年 11 月 13 日 第 50 回いわき市総合社会福祉大会 合同職員会議（市、社協職員） (社会福祉センター)	
成果	
保健・医療・福祉に従事する方の功績を表彰することにより、担い手一人ひとりの意欲を維持・向上するとともに、記念講演を実施することにより、福祉に関する幅広い知識を習得し、関係者の資質向上を図った。	

○ 各種大会への参加

各種大会等に役職員が参加し、他団体からの参加者との交流や情報交換等を通じて、地域福祉活動の推進に努めた。

- ・令和6年11月17日 第78回福島県社会福祉大会（郡山ユラックス熱海）参加者11名

成果

福祉に関する幅広い知識を習得し、本会役職員の資質向上を図った。また、市総合社会福祉大会に係る運営の参考とした。

○ 広報紙の発行

社会福祉協議会の取り組みへの理解促進とご協力をいただくため、いわき市社協だよりを発行。

各地区協議会においても広報紙を発行し、情報提供と理解の促進に努めた。

なお、編集にあたっては、役員3名と職員7名による広報委員会を設置し、より分かりやすく、親しみやすい構成に努めた。

1 いわき市社協だよりの発行

- ・発行部数：115,000部（全世帯配布）
- ・発行状況：令和6年 7月10日 いわき市社協だより第151号
9月20日 " 第152号
令和7年 1月20日 " 第153号
4月15日 " 第154号

2 地区協議会だよりの発行

地 区	発行部数	地 区	発行部数
平	35,700	小 川	2,600
小名浜	24,500	好 間	4,400
勿 来	15,600	三 和	1,300
常 磐	12,000	田 人	700
内 郷	10,000	川 前	500
四 倉	5,200	久之浜・大久	1,750
遠 野	1,600	合 計	115,850

成果

広報紙を用いての事業紹介や報告等、広く市民に向けて情報を提供することにより、活動への参加や事業への協力を得ることができ、情報発信の重要な役割を担うことができた。

○ ホームページ及びフェイスブック等による情報発信

本会の事業等の情報をホームページ及びFacebookに掲載し、情報提供に努めた。

成果

タイムリーな情報更新に努め、本会事業の情報発信および事業周知ができた。

基本計画 2-2 地域福祉の担い手づくり		
実施項目／実施内容		備考
○ 住民支え合い事業		再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業		再掲 P.2 ～3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業		再掲 P.5
○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・住民支え合い活動連絡会等）		
○平地区 地域づくり研修会 開催日：令和6年10月30日 場 所：いわき市社会福祉センター 内 容：地域におけるつどいの場の役割・情報交換会 参加者：38名（地域住民） ○勿来地区 ボランティア活動育成事業 開催日：令和7年3月13日 場 所：勿来支所 内 容：地域包括ケアシステム・住民支え合い活動づくり・つどいの場について 参加者：23名（地域住民） ○内郷地区 ふくみちゃんカフェ（被災地域つどいの場）（新規） 令和5年の豪雨により被害を受けた地域（7か所）で地域の復興とコミュニティ再生の場として開催		
開催場所	回数	参加者（延べ）
宮（柏俣園）	11回	107名
宮沢団地集会所	12回	134名
白水上代集会所	12回	104名
金坂集会所	10回	102名
内町立町集会所	12回	223名
内町前田集会所	10回	69名
白水・入山	5回	7名
合 計	72回	746名

成果

地域活動の充実・展開に向けた対応を考える機会となった。また、地区内の社会資源の把握や第3層協議体の実施状況の意見交換をすることで、情報の共有が図られた。

○ 福祉職場での実習生の受け入れ及び連絡調整

福祉の職場実習先として、本市出身の社会福祉専門職を目指す大学生を積極的に受け入れるとともに、他の福祉職場での実習に関する連絡調整を行い、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。

	受入期間	備考
ソーシャルワーク実習 社会福祉援助技術実習 ソーシャルワーク実習Ⅱ	令和6年8月1日 ～9月10日	東日本国際大学（1名） 東北福祉大学（1名） 国際医療福祉大学（1名）
	合 計	3校（3名）

*令和5年度：3校（3名）

成果

実習生の受け入れを行うことにより、実際の現場を肌で感じてもらいながら専門職としての価値規範、専門的知識や経験等を学んでもらうなど、これからの福祉を担っていく人材の育成に貢献することができ、職員の資質向上にもつながった。

○ 各種福祉講座等へ職員を講師として派遣

保健福祉行政に新たに携わる職員向け講座の講師として職員を派遣し、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。

令和 6年 7月23日	社会福祉援助技術現場実習 (地域福祉ネットワークいわき法人本部)
8月31日	いわき市基礎手話講習会（サン・アビリティーズ）
10月22日	保健福祉行政新任者研修（いわき市役所）

○ 青少年福祉体験学習事業

再掲
P.27
～28

○ サマーショートボランティアスクール事業

再掲
P.28

○ 広報紙の発行

再掲
P.47

基本計画2-3 福祉ボランティア活動などの推進

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3

○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・ボランティア連絡会等） 1 ボランティア活動育成 2 ボランティア連絡会等	再掲 P.27 ～28
○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.27 ～28
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.28
○ 福祉活動支援バス借上げ助成事業の実施 市内で活動する福祉団体及びボランティア団体等が、バスを借上げて各種研修会や大会等に参加するのを支援するとともに、地域福祉の向上に寄与することを目的に、バス借上げ費用の一部を助成。 ・助成団体数 12 団体（令和 5 年度：9 団体） ・助成金 400,000 円（令和 5 年度：285,000 円） ※助成は年 1 回。バス借上げ経費の 50％・3 万円上限。1 泊以上の場合は 5 万円上限。 成果 本事業を活用することで、各種団体が研修会等へ参加する一助につながった。	
○ いわき市ボランティア連絡協議会の活動の支援 ボランティア団体の充実強化や、ボランティア活動の振興を図る目的で組織された「いわき市ボランティア連絡協議会」が取り組む活動を支援。 令和 6 年 4 月 27 日 ボランティア連絡協議会定期総会 10 月 12 日 いわき市ボランティア団体交流会 令和 7 年 2 月 8 日 いわき市内ボランティア団体活動紹介&交流会 成果 ボランティア連絡協議会と連携することにより、本市のボランティア活動の発展につなげることができた。 また、ボランティア団体交流会では、多数の団体が参加し、互いの活動内容を確認するとともに、市民に対してもいわき市のボランティア活動を活性化する機会となった。	
○ いわき市老人クラブ連合会の活動の支援 「いわき市老人クラブ連合会」の事務局を担い、高齢者作品展と芸能祭、さらには、各単位老人クラブが実施する一人暮らし高齢者への友愛訪問など、高齢者の社会参加や生きがいづくり、健康増進を図ることを目的に実施するさまざまな活動を支援した。 令和 6 年 8 月 21 日 浜通り地区ふれあいニューススポーツ交流大会（県主催） 8 月 29 日 シルバーピアード 2024 第 1 回実行委員会	

	9月24日 シルバーフェア 2024 第1回実行委員会 9月25日 第28回福島県高齢者芸能発表会 10月23日 シルバーピアード 2024 11月7日 第18回シルバーグラウンド・ゴルフ交流大会 第1回実行委員会 11月15日 第6回いわき市シルバー歌謡祭 第1回実行委員会 11月27日 シルバーフェア 2024 第2回実行委員会 12月4日 第18回シルバーグラウンド・ゴルフ交流大会 12月12日 シルバーフェア 2023 創作展（～17日） 令和7年 1月16日 第6回いわき市シルバー歌謡祭 2月25日 シルバーフェア 2024 第3回実行委員会 3月19日 ふれあい旅行（宮城県松島方面：110名参加） 成果 老人クラブ会員が中心となり、地域で活動している65歳以上の高齢者とともに、社会参加や生きがいづくり、健康増進を図ることができた。	
○	広報紙の発行	再掲 P.47
○	ボランティア活動センター運営事業 1 ボランティア相談・登録の状況 ニーズ受付件数 31件（令和5年度：34件） マッチング件数 25件（令和5年度：16件） 個人ボランティア登録数 147名：うち新規登録数 26名 団体ボランティア登録数 130団体：うち新規登録数 8団体 成果 施設や団体からの相談が増え、地域住民や施設等からのボランティアの依頼に応じ、地域活動に貢献することができた。	
○	ボランティア保険の加入促進 市民が安心して、継続的にボランティア活動ができるよう、全国社会福祉協議会ボランティア活動保険の加入を促進した。 1 補償内容 ボランティア活動中のさまざまな事故による負傷などへの備えや、活動先からの賠償請求に対する補償	

2 ボランティア活動保険

プラン	保険料（掛金）	加入者数
基本プラン	350 円	1,925 名
天災・地震保障プラン	500 円	565 名
合 計		2,490 名

（令和 5 年度：2,434 名）

3 ボランティア行事用保険

- ・ 加入申込み件数 48 件／3,528 名（令和 5 年度：29 件／2,272 名）

成果

ボランティアが安心して活動できるよう保険加入の促進に努めた。

また、住民支え合い活動に取り組む支え合いサポーターに対しては、本会の助成により、特定感染症重点プランの加入を行い、安全かつ安心して活動ができるよう体制構築を図った。

○ ボランティアルームの貸し出し

ボランティア相互の情報交換や、交流の場、さらには活動拠点として、ボランティア団体を対象にボランティアルームの貸出や、コピー機の貸出を無料で提供している。

ボランティアルームの貸出（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）

提供場所	いわき市社会福祉センター 1 階	利用件数	利用者数
利用時間	午前 9 時から午後 9 時	156 件	847 名
利 用 料	無料（要予約）		

（令和 5 年度：219 件／1,085 名）

- ・ 団体事務室の貸 88 件 （令和 5 年度：250 件）
- ・ 録音室の貸出 353 件 （令和 5 年度：391 件）
※利用者数 816 名 （令和 5 年度：898 名）
- ・ コピー機の提供 373 件 （令和 5 年度：402 件）
- ・ ロッカーの貸出 14 台（18 台中）

成果

多くのボランティア団体が、ボランティア相互の情報交換や交流の場として活用を図ることができた。

○ 災害ボランティアセンターの常設運営

再掲
P.6

○ ボランティア活動活性化事業（新規）

ボランティア活動を活発にするため、講師を招き、効果的なボランティアの募集の方法やマッチング方法等を学ぶ研修を実施した。

- ・開催日：令和6年10月25日
- ・場所：いわき市社会福祉センター 5階大会議室
- ・内容：共に生きる社会の実現に向けたボランティアの育成及びボランティア活動の活発化を図るためには
- ・講師：日本ボランティアコーディネーター協会 小原 宗一 氏
- ・参加人数：27名

成果

マッチングに関する手法や知識、相談に対する考え方等を学ぶことで、職員の資質向上につなげ、住民支え合い活動や各種事業におけるボランティア活動を活発化させる一助になった。

○ 災害見舞金配分事業

火災、水害等の罹災者に対し、福島県共同募金会より配分を受けて見舞金を支給した。

地区名	災害内容件数（件）				配分額（円）
	火災	床上浸水	その他	合計（件）	
平	4	0	0	4	35,000
小名浜	1	0	0	1	20,000
勿来	2	0	0	2	20,000
常磐	3	0	0	3	35,000
内郷	1	0	0	1	10,000
四倉	1	0	0	1	25,000
合計	12	0	0	12	145,000

（令和5年度：28件／295,000円）

*見舞金の額は罹災者1世帯当たり10,000円（半焼、床上浸水は5,000円）、
死亡者1名につき10,000円を加算。

○ ボランティア基金の運営（ボランティア活動助成事業）

福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動の推進を図ること等を目的として、ボランティア活動助成を行った。

- 1 募集期間 令和6年4月1日から4月19日まで
6月4日から11月29日まで（追加申請期間）

2 ボランティア基金運営委員会の開催

開催日：令和6年5月24日

場所：いわき市社会福祉センター

内容：(1) 令和5年度いわき市ボランティア活動助成金申請・配分結果について
(2) 令和6年度いわき市ボランティア活動助成金配分について

関係
資料
P.85

3 ボランティア活動助成状況 助成団体：12 団体（令和 5 年度：12 団体） 助成総額：2, 235, 400 円（令和 5 年度：2, 128, 300 円） 成果 助成金の活用によりボランティア活動の活性化が図られ地域福祉の増進につながった。	
○ 年末年始 地域ささえあい助成事業	再掲 P.7
○ 民間資金等の活用によるボランティア団体の活動支援 民間の公益補助団体等が、ボランティアの育成支援を目的に実施する活動資金助成事業について情報提供するとともに、申請手続きの支援等を通じてボランティア団体等の活動を支援した。 ＜助成金の名称＞ 1 公益財団法人 大和証券福祉財団「2024 年度（第 31 回）ボランティア活動助成」 2 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 「第 41 回老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」 3 一般財団法人 福島民報教育福祉事業団「第 34 回民報福祉・文化奨励金」 4 公益財団法人 福島県総合社会福祉基金「助成事業・貸付事業」 5 公益財団法人 SOMPO 福祉財団「住民参加型福祉活動資金助成」 6 公益財団法人 ヤマト福祉財団「ヤマト福祉財団助成金」 7 公益財団法人 ユニバーサル財団「2024 年度ユニバーサル財団特定助成」 8 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団「わかば基金」 9 認定 NPO 法人 ふくしま NPO ネットワークセンター「2024 年度ふくしま元気活動助成金」 10 公益財団法人 大同生命厚生事業団 2024 年度「ボランティア活動助成」 成果 登録ボランティア団体等への情報提供により、活動支援の強化が図られた。	
○ 赤い羽根共同募金運動の推進 社会福祉施設や社会福祉団体等が行う、民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金運動を推進するとともに、通年型募金箱の設置箇所の開拓や街頭募金・職域募金等の拡充強化を図り、募金実績の増強に努めた。 ＜推進期間＞ 令和 6 年 10 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで ＜募 金 額＞ 44, 844, 014 円（令和 5 年度実績額：44, 497, 314 円）	関係 資料 P.93

(内 訳)

	募金額
1 戸別募金	36,720,920 円
2 街頭募金	329,276 円
3 法人募金	3,876,582 円
4 学校募金	2,085,807 円
5 職域募金	1,276,067 円
6 イベント募金	111,379 円
7 個人募金	136,796 円
8 その他の募金	307,187 円
合 計	44,844,014 円

*街頭募金実施箇所 平・小名浜・勿来・常磐・内郷・四倉・好間分会

*イベント募金実施箇所 常磐・遠野・小川・三和・久之浜・大久分会

成果

令和5年度は台風第13号豪雨災害の影響を受け募金実績が減少したが、令和6年度は街頭募金の再開や、戸別募金の回復などにより実績額が増額した。

社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金としての役割を果たすことができた。

○ 歳末たすけあい運動の推進

支援を必要としている人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉・在宅福祉サービス事業を重点的に展開していくため、新たな年を迎える時期に、地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、さらには関係機関や団体等の協力のもと「歳末たすけあい募金活動」を実施した。

<募金額> 23,338,724 円（令和5年度：23,276,647 円）

<配分状況>

	配分数	配分額
1 在宅見舞金配分	462 世帯	7,326,230 円
2 地域福祉事業配分		7,157,622 円
合 計		14,483,852 円

（令和5年度：12,688,366 円）

成果

市民への歳末たすけあい募金運動の周知と理解が得られ、実績額が増額した。

関係
資料
P.94

基本計画 2-4 見守り支援体制の整備	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 各種事業の開催（高齢者友愛訪問・夕食宅配サービス等） 福祉推進委員・民生児童委員の協力を得て、地区内のひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、安否確認や心配事等に対応していくとともに、地域の支えあいを目的として実施した。 ○遠野地区 在宅支援友愛訪問 開催日：令和6年12月7日 場所：遠野管内 対象世帯：157世帯 内容：シクラメンの鉢植えを持参し友愛訪問 協力者：25名（福祉推進員、民生児童委員） ○小川地区 高齢者いきいき訪問事業 開催日：令和6年7月19日 場所：小川管内 対象世帯：234世帯 内容：熱中症予防の呼びかけと世帯状況の把握 協力者：25名（幹事、民生児童委員） ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業 開催日：令和7年2月21日 場所：小川管内 対象世帯：164世帯 内容：心配ごと相談、話し相手、交通安全・防犯・悪質商法対策の情報提供 協力者：23名（幹事、民生児童委員） ○三和地区 ふれあい配食サービス事業 開催日：令和6年12月14日 場所：三和管内	

対象世帯：13 世帯

内 容：三和町ふれあい市場「かあちゃん弁当」を宅配しながら世帯状況を把握

協 力 者：7 名（民生児童委員）

○田人地区

熱中症予防対策事業

開 催 日：令和6年8月8日

場 所：田人管内

対象人数：183 名（延べ）

内 容：スポーツドリンクを届けながら脱水症予防の声掛け・安否確認の実施

協 力 者：17 名（民生児童委員）

にこにこ配食サービス事業

開 催 日：令和6年12月7日及び12月14日

場 所：田人管内

対象人数：183 人名（延べ）

内 容：お弁当の配食・安否確認の実施

協 力 者：17 名（民生児童委員）

○川前地区

歳末たすけあい友愛訪問

開 催 日：令和6年11月18日

場 所：川前管内

対象世帯：64 名

内 容：シクラメン花鉢配布・安否確認の実施

協 力 者：10 名（福祉推進員、民生児童委員）

○久之浜・大久地区

夕食宅配サービス事業

開 催 日：令和6年12月14日

場 所：久之浜・大久地区内

対 象 者：173 名

内 容：温かいお弁当を手渡ししながら、安否確認と相談活動

協 力 者：17 名（民生児童委員）

成果

協力者の訪問をとおり、一人暮らし高齢者の孤独感の解消を図り、日頃からの見守り体制の構築につなげることができた。

勿 来	760	小 川	156	久之浜・大久	208
常 磐	407	好 間	360	合 計	6,407
内 郷	640	三 和	239		

(令和5年度 6,571名)

成果

ひとり暮らし高齢者等や避難行動要支援者名簿登録者の情報を把握することができ、地域内で孤立しがちな住民の発見と見守り体制の構築につなげることができた。

また、高齢者を狙った悪質な訪問販売等の犯罪被害から見守ることができた。

○ 支え合い福祉マップ作成事業

「避難行動要支援者マップ」を基本に地域の様々な情報を加え、住民支え合い活動やつどいの場創出支援事業等の推進につなげるとともに、災害危険エリアの表示を加えることで、災害時においても有効に活用できるマップ作成を実施した。

<令和6年度実績>

地区名	実施地区	実施日	参加人数
遠野	入遠野地区	令和6年5月17日	9名
	根岸地区	令和6年6月1日	8名
	上根本地区	令和6年6月19日	8名
田人	入旅人地区	令和6年11月26日	30名

成果

これまでマップを作成してきた地域に居住する対象者の情報更新を図ることで、新たな対象者の発掘や、地域における危険箇所等の情報共有を図ることができた。

○ 生活支援相談員等配置事業 ※県社協受託事業

再掲
P.20

○ 民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連絡会の開催

各地区の「民生児童委員協議会長」、「行政嘱託員連合協議会長」、「地区協議会会長」との三者連携強化を図るため、令和6年度の事業計画及び事業等の説明及び会員会費の加入促進に理解と協力を得るとともに意見交換を行った。

- ・開催日：令和6年6月21日
- ・開催場所：いわき市社会福祉センター
- ・開催内容：「台風第13号豪雨災害後の内郷地区～復興の歩みと現状～」

【講師】災害支援ネットワーク Iwaki 会長 馬目 一浩 氏

成果

民生児童委員協議会、行政嘱託員連合協議会と連携を図ることで、会員会費の推進強化、住民支え合い活動や要援護者の把握や見守り活動など、本会が重点事業に掲げた住民主体の支え合い活動の充実につなげることができた。

○ 民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連携

1 民生児童委員との連携強化

情報交換や協働を通じて、地域福祉や在宅福祉を円滑に進めるよう努めた。

(1) 民生児童委員と連携する主な事業

- ア 生活福祉資金貸付事業
- イ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業
- ウ 住民支え合い活動づくり事業
- エ 住民支え合い事業
- オ つどいの場創出支援事業
- カ 共同募金関係事業
- キ 歳末配分事業
- ク 歳末配分援護世帯の調査及び見舞金の支給

(2) 地区協議会において単位民協定例会へ出席し、情報交換を行った。

- ア 社協関係事業情報提供
- イ 各種調査による情報収集

2 行政嘱託員（区長）との連携強化

行政嘱託員・区長との連携を強化し、募金活動や地域福祉活動への協力をいただきながら、地域福祉の向上に努めた。

(1) 行政嘱託員・区長と連携する主な事業

- ア 住民支え合い活動づくり事業
- イ 住民支え合い事業
- ウ 会員会費の推進
- エ 共同募金運動の推進
- オ 社協広報紙の配布
- カ つどいの場創出支援事業

基本計画 2－5 虐待防止体制の充実

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3

○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 各種事業の実施（介護者友愛訪問・在宅介護者支援・虐待防止講座等） 日頃、寝たきり高齢者等の介護に専念されている介護者を対象に、花鉢を届けながら交流し、在宅介護者の精神安定につなげることを目的に実施した。また、子どもや高齢者、障がい者の権利を守るために必要な知識や制度についての講座も開催した。 ○四倉地区 虐待防止講座 開 催 日：令和7年2月10日 場 所：四倉商工会館 内 容：いわき市におけるヤングケアラーの現状や相談支援体制について 参 加 者：26名（地域住民） ○三和地区 介護者・ほっと一息支援事業 開 催 日：令和6年12月14日 場 所：三和管内 対象世帯：10世帯 内 容：在宅介護者へ花鉢を届け、高齢者・介護者の現状確認を行う ○田人地区 在宅介護者との交流事業 開 催 日：令和6年12月19日 場 所：田人管内 対象世帯：15世帯 内 容：在宅介護者へ花鉢を届け、高齢者・介護者の現状確認を行う ○久之浜・大久地区 在宅介護者支援事業 開 催 日：令和7年3月14日 場 所：久之浜・大久管内 対象世帯：10世帯 内 容：在宅介護者へ慰労品を届け、高齢者・介護者の現状確認を行う 成果 花鉢を届けることにより交流の機会が得られ、在宅介護者に寄り添い、心身の慰労につなげることができた。また、子ども虐待防止の養成講座では、虐待についての理解を深めることができた。	

○ 子育てサロン事業	再掲 P.22
○ 生活困窮者生活サポート事業	再掲 P.13 ～15
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.23
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.18 ～19
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.16 ～17
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.58
○ 介護保険事業	再掲 P.29 ～30
○ 産前・産後ヘルパー派遣事業 ※市受託事業	再掲 P.23 ～24
基本計画 2－6 相談・支援機関のネットワーク強化	
実施項目／実施内容	備考
○ 福祉総合相談事業	再掲 P.35
○ 子育てサロン事業	再掲 P.22
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.23
○ 生活困窮者生活サポート事業	再掲 P.13 ～15
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.18 ～19
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.16 ～17

○ 生活支援相談員等配置事業 ※県社協受託事業	再掲 P.20
○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業・車椅子同乗貸出事業	再掲 P.33 ～34
○ 介護保険事業	再掲 P.29 ～30
基本計画 2－7 避難行動要支援者支援制度の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 支え合い福祉マップ作成事業	再掲 P.59
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.58
○ 避難者行動要支援者登録の推進 「支え合い福祉マップ」の作成のための懇談会を通し、地域における要支援者の把握に努めるとともに、必要とされる方への避難行動要支援者登録について勧奨した。	
○ いわき市総合防災訓練への参画 いわき市総合防災訓練における地区別訓練へ各地区協議会職員が参画し、関係機関及び地域住民等と災害時の避難訓練を実施した。 ・いわき市総合防災訓練（地震・津波編） 開催日：令和6年11月16日 場 所：小名浜地区、勿来地区、四倉地区 成果 災害時における、関係機関との連携方法や本会職員の担うべき役割等を確認することができた。	
○ 福祉避難所の支援 いわき市と福祉避難所への人材派遣に関する協定に基づき、大規模災害発生時において、福祉避難所が設置され要請があった場合は、介護等に従事する職員を派遣することとなっていることから、派遣に備えた介護等従事職員の体制を図った。	

基本計画 2-8 防犯対策の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.58
基本計画 2-9 交通移動手段や住まいの確保	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ いわき市社会福祉法人連絡会議 市内の社会福祉法人が一堂に会し、地域を取り巻く福祉に関する情報共有を図るとともに、法人間のつながりを強化し、地域貢献に対する情報交換の場となることを目的して開催することとしたが、令和6年度は日程調整がつかず、開催することができなかったが、令和7年度の開催に向け、協議内容等を含め検討することとした。	
基本計画 2-10 権利擁護・成年後見の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 福祉総合相談事業	再掲 P.35
○ 生活・就労支援センター運営事業 ※市受託事業	再掲 P.10 ～12
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.18 ～19
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.16 ～17
○ 生活困窮者生活サポート事業	再掲 P.13 ～15

基本目標 3 健康で自分らしい暮らしをつくるために					
基本計画 3－1 健康づくりの推進					
実施項目／実施内容					備考
○ 住民支え合い事業					再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業					再掲 P.2 ～3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業					再掲 P.5
○ 子育てサロン事業					再掲 P.22
○ 各種事業の実施（地域健康増進活動・地域配食サービスボランティア等）					
○ 百歳賀寿の実施 百歳の高齢者に対し記念品を贈呈し、その長寿を祝い、あわせて市民の間に広く高齢者福祉についての関心と理解を深めるとともに、高齢者の健康の増進に努める意欲を高めた。					
居住地区	贈呈者（名）	居住地区	贈呈者（名）	居住地区	贈呈者（名）
平	33	四 倉	11	田 人	2
小名浜	27	遠 野	2	川 前	2
勿 来	19	小 川	2	久之浜・大久	3
常 磐	11	好 間	1	合 計	120
内 郷	6	三 和	1	(令和 5 年度：105 名)	
基本計画 3－2 保健医療体制の充実					
実施項目／実施内容					備考
○ 介護保険事業					再掲 P.29 ～30
○ 障がい者福祉サービス事業					再掲 P.34
○ 身体障がい者訪問入浴サービス事業					再掲 P.34

○ 保健・医療・福祉関係の各種会議等への参画

<いわき市社会福祉審議会>

令和 6年	5月30日	第1回児童福祉専門分科会（文化センター）
	6月25日	第2回児童福祉専門分科会（文化センター）
	8月27日	第3回児童福祉専門分科会（文化センター）
	10月24日	第4回児童福祉専門分科会（文化センター）
	11月28日	第5回児童福祉専門分科会（文化センター）
	2月13日	第6回児童福祉専門分科会（文化センター）
	3月12日	第7回児童福祉専門分科会（文化センター）

<いわき市情報公開・個人情報保護審議会>

令和 6年	5月29日	第1回審議会（いわき市役所）
	8月29日	第2回審議会（いわき市役所）
	11月26日	委嘱状交付式及び第3回審議会（いわき市役所）
令和 7年	2月12日	第4回審議会（いわき市役所）

<いわき市国民健康保険運営協議会>

令和 6年	5月15日	第1回運営協議会（いわき市役所）
	7月18日	東北地方国保運営協議会代表者連絡協議会
	～19日	（仙台市江陽グランドホテル）
	9月26日	福島県国民健康保険運営協議会総会
		（ホテル福島グリーンパレス）

<いわき市表彰選考委員会>

令和 6年	8月1日	委嘱状交付式及び表彰選考委員会（いわき市役所）
-------	------	-------------------------

<健康いわき推進会議>

令和 6年	11月28日	第1回会議（いわき市役所）
令和 7年	2月1日	第23回健康いわき21推進市民大会（文化センター）

<いわき市児童館運営委員会>

令和 6年	7月8日	第1回運営委員会（いわき市役所）
-------	------	------------------

<いわき市地域自立支援協議会>

令和 6年	5月30日	第1回協議会（いわき市役所）
	9月19日	第2回協議会（いわき市役所）
	11月22日	第3回協議会（いわき市役所）
令和 7年	3月19日	第4回協議会（いわき市役所）

<いわき市権利擁護支援ネットワーク推進運営委員会>

令和 6年	6月6日	第1回受任調整・個別検討部会（市総合保健福祉センター）
	9月26日	第1回委員会（文化センター）

令和 7年 3月18日 第2回受任調整・個別検討部会（市総合保健福祉センター）

<奨学生選考委員会>

令和 6年 4月19日 委嘱状交付式及び第1回選考委員会（いわき市役所）
9月10日 第2回選考委員会（いわき市役所）

<いわき市社会福祉施設事業団>

令和 6年 4月1日 第130回理事会（市健康・福祉プラザ）
5月22日 第131回理事会（市健康・福祉プラザ）
令和 7年 2月4日 第132回理事会（市健康・福祉プラザ）

<日本赤十字社福島県支部>

令和 7年 2月10日 第2回評議員会（日本赤十字社福島県支部）

<いわき都市圏総合都市交通推進協議会>

令和 6年 10月24日 第14回協議会（文化センター）
令和 7年 2月18日 第16回会議（書面開催）

<いわき市防災会議>

令和 7年 3月21日 第1回会議（いわき市役所）

<いわき市地域包括ケア推進会議>

令和 7年 3月17日 第2回会議（市総合保健福祉センター）
3月24日 まちづくり座談会（市総合保健福祉センター）

<いわき見守りあんしんネット連絡協議会>

令和 7年 1月27日 連絡会議（文化センター）

<介護保険運営協議会>

令和 6年 5月29日 第1回会議（いわき市役所）
令和 7年 2月12日 第2回会議（いわき市役所）

<福祉介護人材確保に向けた検討部会>

令和 6年 9月30日 第1回会議（いわき市役所）
令和 7年 2月6日 第2回会議（いわき産業創造会館）

<いわき市要保護児童対策地域協議会>

令和 7年 3月19日 代表者会議（市総合保健福祉センター）

<要保護児童対策地域協議会実務者会議>

令和 6年 7月31日 第1回実務者会議（文化センター）
令和 7年 1月31日 第2回実務者会議（いわき市文化センター）

<いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動>

令和 6年 4月 8日 役員会（文化センター）
4月 26日 全体会議（文化センター）

<いわき市社会を明るくする運動>

令和 6年 5月 24日 監査（社会福祉センター）
5月 31日 推進委員会総会（市役所）

<いわき市障がい者職親会>

令和 6年 5月 28日 総会（産業創造館ラトブ）

<福島県精神保健福祉協会いわき支部>

令和 6年 8月 1日 総会（市総合保健福祉センター）

<いわき市医療センター病院経営評価委員会>

令和 6年 8月 19日 第1回会議（医療センター）
11月 11日 第2回会議（医療センター）

<いわき市保健医療審議会歯科口腔保健協議部会>

令和 7年 1月 16日 第1回会議（市総合保健福祉センター）

<福島県防災会議>

令和 6年 10月 31日 第1回会議（書面開催）
令和 7年 3月 25日 第2回会議（福島県庁）

<福島県災害ケースマネジメント推進検討会>

令和 6年 5月 30日 第1回検討会（オンライン開催）

<県社協関係>

令和 6年 5月 7日 福島県社会福祉協議会理事会（書面開催）
6月 7日 福島県社会福祉協議会理事会（県総合社会福祉センター）
5月 21日 市町村社会福祉協議会事務局長等研修（オンライン）
7月 22日 市町村社協連協事務局長会 相双・いわき地区連絡会
（第1回）（原町区福祉会館）
7月 31日 福島県社会福祉協議会総合企画委員会
（県総合社会福祉センター）
8月 2日 市町村社協連協事務局長会 会長・副会長会議（第1回）
（南東北総合卸センター）
8月 29日 市町村社協連協会会長・事務局長会（全体会）及び
社会福祉トップセミナー（ビッグパレットふくしま）
10月 29日 福島県社会福祉協議会理事会（書面開催）
11月 7日 福島県社会福祉協議会理事会（県総合社会福祉センター）

11月7日	福島県社会福祉協議会役員交流会（精華苑）	
令和7年1月15日	市町村社協連協事務局長会 相双・いわき地区連絡会（第2回）（原町区福祉会館）	
2月4日	市町村社協連協事務局長会 会長・副会長会議（第2回）（オンライン開催）	
2月20日	社協における避難者支援に関する検討会議（第2回）（オンライン開催）	
2月28日	市町村社協連協事務局長会 会長・事務局長会（全体会）（書面審議）	
3月7日	福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター）	

基本計画3-3 産業、教育など保健福祉以外の様々な分野との協働

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 各種事業の実施（青少年地域交流・福祉風土づくり等）	
○ いわき市総合社会福祉大会の開催	再掲 P.46
○ 各種大会への参加	再掲 P.47
○ ボランティア活動センター運営事業	再掲 P.51

組織および組織運営

1 組織体制	
実施項目／実施内容	備考
○ 理事会・評議員会	

令和6年 5月21日 第1回理事会（書面審議）

〔議事〕

- 1 評議員会の開催について

5月31日 第1回評議員会（書面審議）

〔議事〕

- 1 理事補充の選任について

6月13日 第2回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 理事の退任及び補充選任について

〔議事〕

- 1 ホームヘルパー等給与規程の改正について
- 2 介護職員等処遇改善手当支給規程の制定について
- 3 経理規程の改正について
- 4 指定居宅介護支援事業所運営規程の改正について
- 5 指定訪問入浴介護事業所運営規程の改正について
- 6 指定訪問介護事業所運営規程の改正について
- 7 指定介護予防訪問入浴介護事業所運営規程の改正について
- 8 指定第1号訪問介護事業所（介護予防訪問介護相当サービス）
運営規程の改正について
- 9 指定訪問介護事業所生活援助サービス事業運営規程の改正について
- 10 非常勤ヘルパー服務規程の改正について
- 11 令和6年度資金収支補正予算について
- 12 令和5年度事業報告について
- 13 令和5年度決算の承認について

（ 監 査 報 告 ）

- 14 評議員選任候補者の推薦について
- 15 評議員選任・解任委員会の開催について
- 16 定時評議員会の開催について

6月28日 第2回評議員会

〔議事〕

- 1 令和6年度資金収支補正予算について
 - 2 令和5年度事業報告について
 - 3 令和5年度決算の承認について
- （ 監 査 報 告 ）
- 4 理事補充の選任について

9月27日 第3回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 令和7年度職員採用候補者試験の結果について

〔議事〕

- 1 副会長の選定について
- 2 非常勤ヘルパー服務規程の改正について

12月20日 第4回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 令和7年度職員採用候補者試験の結果について

令和7年 3月18日 第5回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 令和7年度職員採用候補者試験の結果について
- 3 理事の退任及び補充選任について

〔議事〕

- 1 職員就業規則の改正について
- 2 育児・介護休業等に関する規則の改正について
- 3 職員給与規程の改正について
- 4 臨時職員就業規則の改正について
- 5 再雇用職員給与規程の改正について
- 6 嘱託職員給与規程の改正について
- 7 臨時職員給与規程の改正について
- 8 ホームヘルパー等給与規程の改正について
- 9 職員退職手当規程の改正について
- 10 職員被服貸与規程の改正について
- 11 地区協議会設置規程の改正について
- 12 令和6年度資金収支補正予算について
- 13 役員等賠償責任保険契約について
- 14 令和7年度事業計画について
- 15 令和7年度資金収支当初予算について
- 16 評議員会の開催について

3月26日 第3回評議員会

〔報告〕

- 1 令和7年度職員採用候補者試験の結果について
- 2 役員等賠償責任保険契約について

〔議事〕 1 令和6年度資金収支補正予算について 2 令和7年度事業計画について 3 令和7年度資金収支当初予算について 4 理事補充の選任について	
○ 監査の実施 令和 6年 6月 3日 市社協監査 監事による監査を受け、適正処理であることの承認を得る	
○ 各種専門委員会の実施 【評議員選任・解任委員会】 令和 6年 6月 17日 評議員の選任について 【広報委員会】 令和 6年 6月 13日 いわき市社協だより第151号掲載内容・承認について 8月 21日 いわき市社協だより第152号掲載内容・承認について 令和6年度いわき市社協だより発行計画及び作業計画について 12月 13日 いわき市社協だより第153号掲載内容・承認について 令和 7年 3月 14日 いわき市社協だより第154号掲載内容・承認について 【衛生委員会】 令和 6年4月から令和7年3月まで（毎月開催）	
○ 地区幹事会・福祉推進会の実施 地区住民の福祉向上に寄与するため、地区の保健・医療・福祉・教育及び関連団体の代表者等で構成される幹事会及び福祉推進会を各地区において開催し、地域に密着した福祉活動の円滑な推進を図った。	
○ 福祉推進委員等役員研修の実施 地区協議会の福祉推進委員等を対象に各種研修を行い、地域福祉活動に対する一層の理解と協力を促進した。 ○平地区協議会 開催日：令和7年3月24日 場 所：いわき市社会福祉センター 内 容：「子どもたちにたった1つ必要なこと」 参加者：25名	

○小名浜地区協議会

開催日：令和7年3月18日

場 所：小名浜公民館

内 容：特定非営利活動法人地域福祉ネットワークいわきの取組みについて

参加者：28名

○常磐地区協議会

開催日：令和6年11月21日

場 所：特定非営利活動法人寺子屋方丈舎（会津若松市）

内 容：視察研修

参加者：20名

○内郷地区協議会

開催日：令和6年11月7日

場 所：栃木県防災館

内 容：視察研修

参加者：17名

○四倉地区協議会

開催日：令和7年3月19日

場 所：いわき海浜自然の家

内 容：歩くニュースポーツ「ウォーキングフットボールがもたらす交流と健康」

参加者：23名

○遠野地区協議会

開催日：令和6年10月18日

場 所：那須まちづくり広場

内 容：社協・民協合同視察研修

参加者：17名

○小川地区協議会

開催日：令和6年9月20日

場 所：一般社団法人えんがお（栃木県大田原市）

内 容：社協・民協合同視察研修

参加者：20名

○好間地区協議会

開催日：令和6年10月8日

場 所：東京都北区防災センター

内 容：社協・民協合同視察研修

参加者：13名

○三和地区協議会

開催日：令和6年6月19日

場 所：(株) ツクイ・サンシャイン会津若松 介護付有料老人ホーム

内 容：視察研修

参加者：22名

○田人地区協議会

※2年に1回の開催のため実績なし

○川前地区協議会

開催日：令和6年7月3日から4日

場 所：気仙沼市東日本大震災遺構伝承館

内 容：社協・民協合同視察研修

参加者：9名

○久之浜・大久地区協議会

開催日：令和7年3月17日

場 所：伊達市社会福祉協議会

内 容：視察研修

参加者：13名

2 財源および財務運営

実施項目／実施内容

備考

○ 会員会費の推進

1 正会員及び特別会員会費の推進

全戸加入を目標として行政嘱託員の協力をいただきながらチラシの全戸配布や会費の納入のとりまとめを行うなど会員の確保に努めた。

- ・ 正会員世帯数 75,863 世帯
- ・ 納入額 37,382,800 円

<推進期間>

	推進地区
7 月	平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前 久之浜・大久

<会費納入額>

	納入額
1 正会員会費	37,382,800 円
2 特別会員会費	1,534,000 円
合 計	38,916,800 円

<令和4年度から令和6年度までの会費納入額の推移>

	R 4	R 5	R 6	前年度増減	対前年度比
1 正会員会費	38,993,560 円	38,378,810 円	37,382,800 円	△996,010 円	97.4%
2 特別会員会費	1,502,000 円	1,531,000 円	1,534,000 円	3,000 円	100.2%
合 計	40,495,560 円	39,909,810 円	38,916,800 円	△993,010 円	97.5%

2 企業会員及び団体（法人施設）会員会費の推進

依頼文書及び訪問により、会費の納入と新規加入促進を図った。

(1) 企業会員会費推進状況

- ・ 企業会員数 711 企業
- ・ 納入額 8,180,477 円

<令和4年度から令和6年度までの企業会員会費納入額の推移>

	R 4	R 5	R 6	前年度増減	対前年度比
企業会員会費	8,460,000 円	8,513,477 円	8,180,477 円	△333,000 円	96.0%

関係
資料
P.91
～92

(2) 団体（法人施設）会員会費推進状況

加入数	納入額
69 団体	690,000 円

＜令和4年度から令和6年度までの法人会員会費納入額の推移＞

	R 4	R 5	R 6	前年度増減	対前年比
法人会員会費	640,000 円	660,000 円	690,000 円	30,000 円	104.5%

成果

前年度と比較すると、正会員会費が2.6%、企業会員会費が4.0%の減額となったが、特別会員会費が0.2%、団体（法人施設）会員会費が4.5%の増額となった。令和6年度は経済活動の緩やかな回復を背景に、新規企業数及び再加入企業数、団体（法人施設）加入数が微増となった一方で、既企業会員の退会が出始めている状況が見受けられた。

本会の事業を展開していくうえで会員会費は必要不可欠な財源であることから、社協の事業に対する理解を得ながら、今後も継続した会費の納入と新規の加入促進に努めていく必要があり、訪問等による推進の再開も視野に入れ検討する。

○ 共同募金運動の推進

再掲
P.54
～55

○ ボランティア基金の運営

再掲
P.53
～54

○ 補助・受託事業の実施

＜令和6年度の事業＞

- ・ 生活困窮者自立相談支援事業（市）
- ・ つどいの場創出支援事業（市）
- ・ 地域子育て支援拠点事業（市）
- ・ 住民支え合い活動づくり事業（市）
- ・ 産前・産後ヘルパー派遣事業（市）
- ・ 子育て世帯ヘルパー派遣事業（市）
- ・ 身体障がい者訪問入浴事業（市・檜葉町）
- ・ 要介護認定調査（市・関係市区町村）
- ・ 介護予防支援業務（市・関係市町村）
- ・ 生活福祉資金貸付事業（県社協）
- ・ 日常生活自立支援事業（県社協）
- ・ 福祉人材センター協力指定事業（県社協）
- ・ 生活支援相談員等配置事業（県社協）
- ・ 指定介護予防支援事業（NP0）

○ いわき市社会福祉センターの設置運営 会議室、3階・4階の貸室等により、事業収入財源の確保に努めた。		関係 資料 P.86
3 職員体制および職員研修		
実施項目／実施内容		備考
○ 計画的な職員の採用 健全な財政に基づく組織運営と事務事業を遂行するため、適正な職員定数のもとに、計画的な職員の採用に努めた 令和6年度は、正規職員の欠員補充に伴い、「令和7年度職員採用候補者試験」を実施した。 1 採用人数 2名（社会福祉士資格取得者）、1名（日商簿記2級資格取得者） ※応募者数5名		
○ 職員の資格取得の奨励 地域福祉を推進し、かつ住民福祉活動を支援していくうえで、職員にはより高い専門性が求められる時代になったことから、社会福祉士や社会福祉主事、介護福祉士、介護支援専門員など、職員の資格取得と専門性の向上に努めた。		
○ 職場内研修の実施 事務事業の実践能力の向上、専門性の向上、組織人としての成長が、市民サービスと組織の活性化に直結することから、職務を通じた研修やテーマごとの研修会を開催するなど、計画性と継続性をもって職員の資質向上に努めた。 ＜地域福祉事業関係＞ 令和 6年 4月 16日 新採用職員研修 4月 16日 職員研修（演習「文書実務」） 4月 19日 第1回担当者会議 5月 17日 第2回担当者会議 6月 14日 第3回担当者会議 7月 12日 第4回担当者会議 7月 17日 企業会員会費方針検討会議 8月 9日 第5回担当者会議 9月 13日 第1回つどいの場担当者会議 9月 13日 第6回担当者会議 10月 25日 第7回担当者会議 10月 30日 第7回生活支援コーディネーター会議 11月 15日 第2回つどいの場担当者会議 11月 27日 第2回生活支援コーディネーター会議		

	12月24日	第8回担当者会議	
令和 7年	1月20日	第3回生活支援コーディネーター会議	
	1月22日	第9担当者会議	
	2月10日	第10回担当者会議	
	3月26日	第11回担当者会議	
＜ホームヘルプセンター関係＞ (毎週開催) 居宅支援事業所定例会 (毎月開催) 訪問介護事業所定例会 / 訪問入浴事業所定例会			
○ 職場外研修の実施 全国・福島県社会福祉協議会、さらにはさまざまな団体等が実施する研修会や講習会等へ職員を積極的に派遣した。 ＜地域福祉活動事業関係＞ 令和 6年 5月10日 ケースワーカー研修1日目【1年目前期研修】 (市総合保健福祉センター) 5月14日 保健福祉行政新任者研修 (市総合保健福祉センター) 5月16日 ケースワーカー研修2日目【1年目前期研修】 (市総合保健福祉センター) 5月20日 ケースワーカー研修1日目【2年目研修】 (市総合保健福祉センター) ＜地域福祉活動事業関係＞ 5月22日 ケースワーカー研修2日目【2年目研修】 (市総合保健福祉センター) 5月24日 ケースワーカー研修1日目【3年目研修】 (市総合保健福祉センター) 6月12日 ケースワーカー研修2日目【3年目研修】 (市総合保健福祉センター) 6月25日 令和6年度生活支援体制整備事業研修 基礎編 7月16日 市町村社会福祉協議会職員研修【新任職員編】 ～17日 (県総合社会福祉センター) 8月 1日 社会福祉法人会計実務講座【上級コース】 ～令和7年1月31日 (中央福祉学院「ロフォス湘南」) 10月22日 ケースワーカー研修1日目【1年目後期研修】 (市総合保健福祉センター) 10月24日 ケースワーカー研修2日目【1年目後期研修】 (市総合保健福祉センター) 10月25日 いわきケアマネ協会令和6年度事業所交流会 11月26日 令和6年度コミュニティソーシャルワーク研修(前期課程) 12月11日 令和6年度コミュニティソーシャルワーク研修(後期課程)			

	12月11日	令和6年度生活支援体制整備事業研修 実践編
	12月16日	地域課題解決に向けた事業間連動支援研修
	12月23日	令和6年度 福島県災害ケースマネジメント推進事業に係る演習
令和 7年	3月15日	2024年度社会福祉士実習指導者講習会
	～16日	(オンライン)

<日常生活自立支援事業関係>

令和 6年	5月14日	あんしんサポート第1回契約締結審査会 (オンライン)
	5月30日	あんしんサポート新規担当者説明会 (ほっとあたま)
	6月13日	個別ケア会議 (いわき市文化センター)
	7月 9日	あんしんサポート市町村担当者会議 (オンライン)
	7月23日	あんしんサポート第2回契約締結審査会 (県総合社会福祉センター)
	9月10日	あんしんサポート第3回契約締結審査会 (オンライン)
	10月16日	意思決定支援研修 (市総合保健福祉センター)
	11月12日	あんしんサポート第4回契約締結審査会 (オンライン)
	12月10日	あんしんサポート学習会 (オンライン)
令和 7年	1月14日	あんしんサポート第5回契約締結審査会 (オンライン)
	2月 3日	専門員実践力強化研修会【基本研修】(オンライン)
	3月11日	あんしんサポート第6回契約締結審査会 (オンライン)

<法人後見事業関係>

令和 6年	7月12日	第1回法人後見運営委員会 (いわき市社会福祉センター)
令和 7年	1月22日	第2回成年後見制度支援者向け研修会 (オンライン)

<被災者支援事業関係>

令和 6年	5月20日	福島県復興公営住宅入居者実態調査結果利活用会議 (県総合福祉センター)
	5月24日	令和6年度 第1回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議 (いわきニュータウンセンタービル)
	5月28日	社会福祉協議会における避難者支援のあり方検討会議 (第1回) (ふくしま医療機器開発支援センター)
	6月 4日	市町村社会福祉協議会生活支援相談員基礎研修 (南東北総合卸センター)
	6月21日	令和6年度相双・いわき地区被災者見守り・相談支援調整会議 (大熊町交流施設 link 大熊)
	7月 9日	令和6年度市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別 研修会(第1回) (ビッグパレットふくしま)
	7月29日	社会福祉協議会における避難者支援のあり方検討会議 (第2回) (ビッグパレットふくしま)

	8月1日	令和6年度第1回福島県被災者見守り・相談支援調整会議 (ホテル福島グリーンパレス)
	8月23日	令和6年度第2回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議 (いわきニュータウンセンタービル)
	8月29日	社会福祉協議会における避難者支援に関する検討会議 (第1回)(ビッグパレットふくしま)
	10月2日	令和6年度市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別 研修会(第2回)(ビッグパレットふくしま)
	11月1日	社会福祉協議会における避難者支援のあり方検討会議 (第3回)(オンライン)
令和7年	1月9日	社会福祉協議会における避難者支援のあり方検討会議 (第4回)(オンライン)
	1月30日	令和6年度市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別 研修会(第3回)(ビッグパレットふくしま)
	2月17日	令和6年度第4回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議 (いわきニューセンタービル)
	2月20日	社会福祉協議会における避難者支援に関する検討会議 (第2回)(オンライン)
	2月21日	令和6年度市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別 研修会(第4回)(ビッグパレットふくしま)
	3月6日	令和6年度第2回福島県被災者見守り・相談支援調整会議 (ウィル福島アクティおろしまち)
	3月19日	令和6年度避難者地域支援コーディネーター連絡会議 (ビッグパレットふくしま)

<生活福祉資金貸付事業関係>

令和6年	6月9日	生活福祉資金・コロナ特例貸付償還免除等に関する説明会 (オンライン)
	7月18日	社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォロー アップ支援推進委員会(第1回)(日本生命福島ビル)
	8月21日	生活福祉資金担当職員研修会(第1回) (ふくしま医療機器開発支援センター)
	9月13日	社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォロー アップ支援推進委員会(第2回)及び調査研究部会(第1回) (日本生命福島ビル)
	10月17日	社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォロー アップ支援推進委員会調査研究部会(オンライン)
	11月19日	社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォロー アップ支援推進委員会(第3回) (ふくしま医療機器開発支援センター)
	11月20日	フォローアップ推進研修会 (ふくしま医療機器開発支援センター)
	12月16日	生活福祉資金担当職員研修会(第2回)(オンライン)

令和 7年 2月 10日 社協連携による緊急小口資金等特例貸付借受人へのフォローアップ支援推進委員会（第4回）及び調査研究部会（第3回）（日本生命福島ビル）

<福祉人材センター協力指定事業関係>

令和 6年 5月 17日 福祉人材センター協力指定事業担当者会議
（県総合福祉センター）
12月 20日 第2回福祉の職場合同就職説明会～福祉のおしごとマルシェ～
（いわき産業創造館 LATOV）

<生活困窮者自立相談支援事業関係>

令和 6年 7月 25日 令和6年度就職氷河期世代活躍支援いわき地域プラットフォーム
研修（いわき公共職業安定所）
9月 7日 令和6年度医療・福祉従事向けヤングケアラー研修会
（市総合保健福祉センター）
12月 5日 令和6年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修
～6日 （オンライン）
12月 24日 生活困窮者自立支援制度人材養成研修 令和6年度相談支援員
～25日 初任者研修（全国社会福祉協議会）
令和 7年 3月 5日 罪を犯した障がい者・高齢者の地域生活支援研修会
（オンライン）

<ホームヘルプセンター関係>

令和 6年 7月 10日 第2回平地区介護支援専門員交流会（オンライン）
7月 11日 第1回他法人の支援事業所との共同での事例検討会、研修会
（市社会福祉センター）
8月 29日 心のサポーター養成研修（市総合保健福祉センター）
9月 2日 苦情解決責任者研修（ビッグパレットふくしま）
9月 18日 福祉用具展示会 and 特別セミナー（いわきアリオス）
10月 16日 高齢者の意思決定支援研修（市総合保健福祉センター）
10月 16日 第2回平地区ヘルパー事業所交流会（中央台公民館）
10月 23日 第1回居宅介護事業所連絡会（中央台公民館）
11月 19日 障がい児・者の防災・避難講座（中央台公民館）
11月 26日 入浴サービスについての教室（長倉小学校）
12月 5日 現任認定調査員研修会（オンライン）
令和 7年 1月 22日 第5回平地区介護支援専門員交流会（オンライン）
2月 12日 カスタマーハラスメントへの対応について
（いわき産業創造館）
3月 10日 介護現場のハラスメント対策（オンライン）
3月 13日 第2回他法人の支援事業所との共同での事例検討会、研修会
（市社会福祉センター）

住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況

地区名	相談件数 (計)	相談内容内訳 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)							実利用者数	サービス 実施件数	関係機関 等へ情報 提供・相談	登録 サポーター
		話し 相手	ゴミ 出し	片付け・ 重い物の 移動	電球 交換	買物 代行	草引き	その他				
平	20 (8)	2 (0)	3 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (5)	5 (0)	2 (4)	11 (8)	0 (2)	54 (68)
小名浜	6 (6)	1 (1)	2 (2)	2 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	50 (44)
勿来	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	58 (56)
常磐	8 (14)	1 (1)	1 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (4)	2 (5)	6 (4)	6 (7)	2 (1)	33 (32)
内郷	11 (15)	0 (1)	2 (4)	3 (0)	0 (2)	0 (0)	2 (6)	4 (2)	5 (3)	5 (4)	2 (0)	42 (40)
四倉	4 (14)	0 (0)	0 (6)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (7)	3 (2)	3 (10)	1 (0)	14 (14)
遠野	4 (5)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (3)	2 (1)	2 (1)	0 (3)	7 (6)
小川	9 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)	4 (8)
好間	8 (7)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	2 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (3)	5 (3)	1 (5)	8 (3)	24 (22)
三和	3 (17)	0 (4)	0 (4)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	1 (6)	9 (8)	9 (10)	0 (7)	18 (14)
田人	2 (3)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (2)	2 (2)	0 (2)	0 (1)	4 (4)
川前	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)
久之浜・大久	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	76 (93)	5 (7)	12 (25)	10 (3)	3 (7)	1 (0)	23 (22)	22 (29)	35 (28)	29 (48)	27 (20)	315 (315)

ア () は、令和5年度実績
イ 久之浜・大久地区は第3層協議体を実施主体とするため除く

住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）

地区名	登録 サポーター	実利用者数	活動延べ件数(令和6年4月1日～令和7年3月31日)			合 計	会議・ 定例会等
			見守り・ 声掛け訪問	生活支援 (買物代行・ ゴミ出し等)	サロン・ つどいの場		
平	城山地区	21 (10)	133 (135)	14 (1)	15 (6)	162 (142)	22 (11)
	鎌田地区	84 (12)	844 (134)	0 (1)	12 (9)	856 (144)	15 (4)
	六十枚区	12 (0)	284 (0)	42 (0)	13 (0)	339 (0)	11 (0)
	愛谷町	22 (-)	92 (-)	0 (-)	14 (-)	106 (-)	5 (-)
小名浜	玉川町西区	21 (21)	226 (240)	109 (122)	0 (0)	335 (362)	11 (12)
	永崎地区	16 (17)	216 (190)	0 (0)	0 (0)	216 (190)	11 (12)
	玉露1・2区	29 (29)	553 (486)	2 (6)	1 (1)	556 (493)	7 (6)
	岡小名第一東区	9 (9)	130 (137)	10 (16)	21 (20)	161 (173)	1 (0)
	上神白区	18 (16)	260 (223)	32 (12)	0 (0)	292 (235)	3 (1)
	玉川南1区	10 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	南台1・2区	19 (20)	0 (0)	1 (0)	43 (45)	44 (45)	1 (0)
勿 来	関田地区	56 (57)	43 (54)	31 (42)	0 (0)	74 (96)	4 (2)
	九面地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)	8 (0)	4 (0)
	金山西・南区	10 (0)	381 (121)	0 (0)	0 (0)	381 (121)	8
	瀬井・1区・2区・3区	16 (10)	54 (-)	0 (-)	0 (-)	54 (-)	5 (5)
	小山下	19 (0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	下船尾地区	20 (18)	255 (203)	0 (0)	8 (11)	263 (214)	11 (11)
	上川地区	8 (8)	367 (48)	0 (0)	35 (0)	402 (48)	47 (48)
常 磐	斑堂団地自治会	19 (19)	52 (9)	6 (1)	0 -	58 (10)	2 (1)
内 郷	高坂9区	8 (12)	150 (120)	0 (0)	0 (0)	150 (120)	21 (12)
	高野地区	10 (11)	218 (223)	8 (0)	23 (0)	249 (223)	21 (11)
	宮1区	2 (3)	132 (32)	0 (0)	8 (3)	140 (35)	9 (3)
	高坂7区	14 (14)	171 (161)	0 (44)	11 (11)	182 (216)	19 (10)
	宮12区	8 (8)	102 (90)	1 (0)	11 (12)	114 (102)	22 (12)
	宮2区	9 (8)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	新町地区	17 (16)	160 (505)	78 (47)	50 (53)	288 (605)	2 (2)
四 倉	梅ヶ丘南地区	8 (12)	381 (456)	53 (63)	21 (24)	455 (543)	5 (6)
	5・9区	7 (7)	168 (153)	4 (12)	12 (12)	184 (177)	12 (12)

地区名	登録 サポーター	実利用者数	活動延べ件数(令和6年4月1日～令和7年3月31日)			合 計	会議・ 定例会等
			見守り・ 声掛け訪問	生活支援 (買物代行・ ゴミ出し等)	サロン・ つどいの場		
遠 野	上根本地区	3 (3)	14 (27)	2 (0)	0 (0)	16 (27)	4 (6)
	入定地区	16 (11)	181 (100)	20 (4)	0 (0)	201 (104)	5 (10)
	下滝行政区	6 (12)	22 (38)	0 (14)	0 (0)	22 (52)	1 (13)
	関屋・落合地区	2 (3)	24 (34)	2 (4)	0 (0)	26 (38)	5 (7)
	深山田地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (7)
	西根地区	57 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)
	前田地区	5 (8)	42 (80)	9 (54)	0 (0)	51 (134)	4 (9)
	上遠野地区①	14 (14)	128 (108)	77 (114)	0 (0)	205 (222)	7 (7)
	上遠野地区②	10 (0)	96 (0)	0 (0)	0 (0)	96 (0)	5 (7)
	入上・中野天王地区	7 (7)	60 (42)	0 (2)	0 (0)	60 (44)	3 (5)
小 川	根岸行政区	14 (0)	42 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (0)	2 (5)
	塩田地区	12 (12)	54 (96)	29 (30)	46 (36)	129 (162)	1 (0)
	山ノ入・淵沢地区	1 (1)	0 (1)	5 (2)	0 (0)	5 (3)	2 (1)
	江田・牛小川地区	20 (20)	87 (184)	3 (24)	23 (20)	113 (228)	4 (2)
	高萩地区	1 (1)	0 (0)	32 (22)	0 (0)	32 (22)	5 (2)
	田代・沼平地区	21 (21)	247 (239)	9 (6)	24 (24)	280 (269)	11 (11)
	北二区	20 (35)	342 (349)	128 (143)	16 (24)	486 (516)	12 (12)
	椎木平地区	8 (19)	79 (77)	33 (0)	9 (11)	121 (88)	9 (11)
	中好間1・2区	21 (29)	451 (467)	1 (2)	44 (48)	496 (517)	11 (12)
	入旅人大字区	5 (37)	90 (249)	8 (76)	8 (11)	106 (336)	3 (4)
田 人	貝泊地区	16 (23)	362 (356)	136 (355)	0 (0)	498 (711)	6 (6)
	荷路夫地区	16 (8)	219 (167)	146 (154)	0 (0)	365 (321)	5 (6)
	山下谷地区	9 (9)	66 (114)	8 (0)	49 (75)	123 (189)	8 (1)
川 前	沢尻地区	7 (7)	131 (62)	17 (0)	28 (40)	176 (102)	6 (0)
	西町1区	1 (18)	58 (49)	472 (408)	7 (5)	537 (462)	7 (6)
	中町区	13 (11)	70 (35)	165 (136)	12 (9)	247 (180)	12 (9)
久之浜・大久	東町区	3 (4)	23 (19)	0 (6)	0 (0)	23 (25)	0 (0)
合 計	55 地区	869 (812)	8,260 (6,613)	1,693 (1,923)	572 (510)	10,525 (9,046)	420 (358)

ア () は、令和5年度実績
イ 太字の地区は令和6年度新規地区

令和6年度いわき市ボランティア活動助成状況

No	団体名／活動概要	申請事業名	助成額(円)
1	シャイネン 歌、楽器演奏を通して、活気、賑わい、笑顔が多くなる様な地域となるような活動を進める。また、高齢者施設、障がい者施設などで演奏を続ける。	音楽ボランティアに必要なアナログミキサー機材	96,000円
2	勿来地区ボランティア連絡会 勿来地区においてボランティア同士の横の連携を図り、活動の輪を広げていくために必要な情報提供や啓蒙・交流とボランティアの育成などを行っている。	広報活動に必要な広報誌発行事業（パソコン含む）	156,000円
3	おひさま日本語教室 外国にルーツがある子どもたち（以下、「在日外国人等」という。）のアイデンティティを尊重しつつ、彼ら自身が自己表現するために、日常生活や強化学習に必要な日本語の習得を支援し地域社会につながる場を提供する。また、会員と在日外国人等が相互に学び合い親睦を図り、多文化共生社会の実現に寄与することを目的としている。	外国にルーツがある子どもの日本語支援活動	200,000円
4	平地区婦人会連絡協議会 子育てで不安の解消事業の一環として子育て中の家族と子供たちが集まり元気に子育てでできる地域環境づくりを推進する。また、コロナ禍による親子のストレスを解消できる場とする。	婦人会活動及びボランティア活動に必要なデジタル機器機材の整備	195,000円
5	いつだれボランティア会 食べきれない、使い切れない食材や調味料等の寄付を受け、それを調理し提供することで、いつでもだれもが気軽に集える場所を作るため食堂を運営する。スタッフはすべて無償のボランティアで、食事代金については投げ銭としている。	居場所づくり・介護予防のためのオレンジカフェの充実及び食堂運営のための設備整備事業	200,000円
6	日本ダウン症協会福島支部 福島まわり会いわき地区 ダウン症をお持ちの本人やその保護者によりよい情報提供や様々な交流の場を持ち、理解を深め、皆が生きやすい世界となるよう活動をしている。	障がい児者の医療・教育福祉ネットワーク構築に向けた勉強会開催に伴う運営費用	188,000円
7	子どもの読書環境を豊かにする会 小・中学校の図書館に専任・専門の支所の配置や、ブックスタート事業、出前読み聞かせ会の活動を続けながら、子ども達が傾き、文化の芽がすくすく伸びる環境を創るために活動している。	パソコン、プリンター及び絵本、大型紙芝居の舞台、紙芝居等の購入。広報誌発行。	200,000円
8	特定非営利活動法人 ザ・ピープル 自分たちが住むまちの問題を自分たちで考え行動する「住民主体のまちづくり」を目的に活動している。主な活動は、「古着を燃やさない社会づくり」の為、古着の回収、リユースリサイクルに関する活動を行っている。	ボランティア活動保険助成事業活動の広報に活用する団体パンフレットの作成	200,000円
9	いわき市ボランティア連絡協議会 市内のボランティア（個人・団体）の相互連携とボランティア活動の伸展に努めることを目的に、ボランティア活動に関する調査研究・連絡調整・情報収集・広報・研修などの啓発活動を行っている。	1. ボランティア団体交流会 2. いわき市内ボランティア団体活動紹介＆交流会 3. 広報誌発行	270,000円
10	いわき市社会福祉協議会(ボランティア活動センター) 地域住民や民間団体の自主的、継続的なボランティア活動の育成、指導及び振興を行っている。	ボランティア活動保険加入者に対する保険料の助成	139,400円
11	永崎女性の会 東日本大震災と原発事故で甚大な被害を受け、平成26年4月笑顔を取り戻したくソフト面で地元への貢献するため会を発足した。県復興公営住宅「下神白団地」と市災害公営住宅「永崎団地」の方々、江名中学校・小名浜海星高校・地元住民との交流会を実施している。	地元の高校、中学校、県営復興下神白団地、市営永崎団地と地元住民によるソフト面（心のケア）での復興につながる交流事業	200,000円
12	いわきふれあいサポート 令和6年4月に施行された「困難な問題を抱える女性のための支援に関する法律」及び「DV防止法」のもと、DV等人権侵害被害女性支援活動を実施。また、相談者が必要とする関係機関への申請や弁護士相談等への同行支援等を行っている。	女性による女性支援のための講座	191,000円
助成配分総額			2,235,400円

令和6年度 社会福祉センター利用状況

令和7年3月31日現在

区分	令和6年度実績 (a)			令和5年度実績 (b)			比較増減 (a) - (b)		
	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)
月別									
4月	9	174	14,200	10	238	6,000	△ 1	△ 64	8,200
5月	14	274	20,100	18	327	22,500	△ 4	△ 53	△ 2,400
6月	15	283	16,800	11	188	6,000	4	95	10,800
7月	20	184	135,200	18	377	44,450	2	△ 193	90,750
8月	8	128	7,950	20	369	25,700	△ 12	△ 241	△ 17,750
9月	15	263	15,000	13	212	43,100	2	51	△ 28,100
10月	14	276	21,000	12	198	13,500	2	78	7,500
11月	9	304	38,600	9	246	91,000	0	58	△ 52,400
12月	12	187	9,000	13	295	52,800	△ 1	△ 108	△ 43,800
1月	7	135	6,000	5	90	6,000	2	45	0
2月	10	186	13,800	0	0	0	10	186	13,800
3月	15	298	17,000	11	177	18,000	4	121	△ 1,000
計	148	2,692	314,650	140	2,717	329,050	8	△ 25	△ 14,400

令和6年度 福祉総合相談実績

相談所名	開設日数	相談者数	性別	
			男	女
福祉総合相談	243	3399	1962	1437

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	合計
	生計	貸付	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・子育て	教育・青少年	障がい者（児）福祉	母子・父子福祉	老人福祉	住民支え合い	ボランティア	苦情	その他	
解決	31	3008	0	2	12	18	0	1	1	4	10	7	1	0	0	8	0	20	11	34	11	24	3203
継続	4	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	6	6	1	0	30
紹介	32	13	1	6	5	13	0	1	4	2	8	12	0	4	0	4	1	33	4	9	3	11	166
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	67	3027	1	8	17	32	0	2	5	6	18	20	1	4	0	12	2	57	21	49	15	35	3399

令和6年度 無料法律相談実績

相談所名	開設日数	相談者数	性別	
			男	女
無料法律相談	12	73	35	38

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	合計
	生計	貸付	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・子育て	教育・青少年	障がい者（児）福祉	母子・父子福祉	老人福祉	住民支え合い	ボランティア	苦情	その他	
解決	0	1	0	2	6	5	0	7	0	1	5	32	2	0	0	1	0	3	1	0	1	4	71
継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紹介	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	2	6	5	0	8	0	1	5	33	2	0	0	1	0	3	1	0	1	4	73

令和6年度 生活福祉資金地区別取扱い状況一覧

取扱地区	貸付決定資金種類(件数・金額)										貸付決定総額(円)	
	総合支援資金		福祉資金		福祉資金(緊急小口資金)		教育支援資金		不動産担保型生活資金 (要保護者向けを含む)		臨時特例つなぎ資金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平			9	2,044,000	20	1,231,000	2	374,000			31	3,649,000
小名浜			2	207,000	7	700,000	4	3,850,000			13	4,757,000
勿来			3	533,000	7	386,000					10	919,000
常磐	1	510,000	1	168,000	1	98,000	1	500,000			4	1,276,000
内郷			2	165,000			1	210,000			3	375,000
四倉					2	35,000					2	35,000
遠野											0	0
小川											0	0
好間			2	310,000	2	95,000					4	405,000
三和											0	0
田人											0	0
川前											0	0
久之浜大久					1	20,000					1	20,000
合 計	1	510,000	19	3,427,000	40	2,565,000	8	4,934,000	0	0	68	11,436,000

令和6年度ホームヘルプセンター事業実施状況

《介護保険事業》

（業務状況）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【居宅支援】													
(1)利用者数	105	103	102	99	96	97	96	95	96	94	96	100	1,179
①要介護度1	12	12	11	12	11	11	11	10	12	13	12	12	139
②要介護度2	27	25	26	24	23	23	23	21	21	20	20	25	278
③要介護度3	20	21	21	21	18	18	19	19	17	17	18	17	226
④要介護度4	5	6	5	5	6	7	6	6	7	4	4	4	65
⑤要介護度5	6	6	6	5	6	6	5	6	6	7	8	8	75
⑥暫定													0
⑦要支援 1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
⑧要支援 2	24	22	22	21	21	21	21	22	22	22	23	23	264
⑨予防暫定													0
【訪問介護】													
(1)利用者数	25	23	24	24	22	23	25	23	25	26	23	27	290
暫定													
(2)予防	15	16	17	17	19	19	19	20	20	20	20	19	221
予防暫定													0
(3)実巡回数	271	260	232	260	230	257	294	262	264	254	249	256	3,089
①生活援助	127	107	88	99	92	96	108	97	112	109	100	104	1,239
②身体生活	18	17	17	19	14	17	26	20	15	14	16	24	217
③身体介護	44	46	45	47	34	51	54	47	32	31	25	37	493
(予防)	82	90	82	95	90	93	106	98	105	100	108	91	1,140
【障がい福祉】													
(1)利用者数(介護)	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	69
(2)実巡回数	34	30	25	35	31	33	37	34	30	27	29	28	373
【訪問入浴】													
(1)利用者	34	37	36	32	32	29	27	27	28	26	28	26	362
暫定													
(2)予防													0
予防暫定													
(3)実巡回数	164	172	147	143	129	114	125	103	104	91	106	107	1,505
①入浴	163	170	145	142	129	113	125	102	102	88	105	107	1,491
②清拭	1	2	2	1	0	1	0	1	2	3	1	0	14
③予防入浴													0
④予防清拭													0

《委託事業》

（業務状況）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【訪問調査】													
(1)調査件数(市内)	7	6	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
(2)調査件数(市外)	2	4	2	2	2	2	4	4	1	0	1	1	25
【身体障がい入浴】													
(1)利用者	7	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	92
(2)実巡回数	34	42	39	36	32	32	36	33	31	26	31	28	400
①入浴	33	42	39	35	32	32	36	31	31	26	31	28	396
②清拭	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	4
稼働日	21,000	21,000	20,000	22,000	21,000	19,000	22,000	20,000	20,000	19,000	18,000	20,000	243
入浴全体の稼働率	3.143	3.397	3.100	4.063	3.833	3.842	3.659	3.400	3.375	3.079	3.806	3.375	3.484
居宅 CM 専任 3人 兼務1人(県外出 4人)													
訪問入浴 R6.4～R6.6:3班 R6.7～R7.3:2班													
訪問介護 非ヘルパー10人・責任者3人													

(1)は①②③④の合計

令和6年度 正会員会費／特別会員会費地区別推進状況

令和7年3月31日現在
(単位:円)

地区名	正会員会費(A)	特別会員会費(B)	合計(C)=(A)+(B)	令和5年度実績(D)	比較増減(E)=(C)-(D)	前年度対比率(C)/(D)*100
平	9,871,800	358,000	10,229,800	10,536,700	△ 306,900	97.1%
小名浜	8,525,000	288,000	8,813,000	8,992,600	△ 179,600	98.0%
勿来	5,502,370	232,000	5,734,370	5,905,080	△ 170,710	97.1%
常磐	3,992,350	26,000	4,018,350	4,129,550	△ 111,200	97.3%
内郷	2,896,680	96,000	2,992,680	3,112,880	△ 120,200	96.1%
四倉	2,049,000	56,000	2,105,000	2,161,000	△ 56,000	97.4%
遠野	705,000	38,000	743,000	770,500	△ 27,500	96.4%
小川	1,006,000	36,000	1,042,000	1,035,000	7,000	100.7%
好間	1,396,600	88,000	1,484,600	1,514,500	△ 29,900	98.0%
三和	439,500	44,000	483,500	471,500	12,000	102.5%
田人	233,000	44,000	277,000	284,500	△ 7,500	97.4%
川前	174,500	42,000	216,500	221,500	△ 5,000	97.7%
久之浜・大久	591,000	52,000	643,000	644,500	△ 1,500	99.8%
市社協取扱分	0	134,000	134,000	130,000	4,000	103.1%
計	37,382,800	1,534,000	38,916,800	39,909,810	△ 993,010	97.5%

企業会員会費推進状況（令和4年度～令和6年度）

令和7年3月31日現在
(単位:円)

地区名	令和4年度		令和5年度				令和6年度				備 考
	企業数	納入額	企業数	納入額	前年度対比		企業数	納入額	前年度対比		
					企業数	納入額			企業数	納入額	
平	139	1,875,000	146	1,965,000	7	90,000	135	1,625,000	△ 11	△ 340,000	
小名浜	145	1,550,000	144	1,545,000	△ 1	△ 5,000	137	1,480,000	△ 7	△ 65,000	
勿来	113	1,380,000	110	1,325,477	△ 3	△ 54,523	106	1,300,000	△ 4	△ 25,477	
常磐	63	780,000	71	860,000	8	80,000	71	870,000	0	10,000	
内郷	52	655,000	49	620,000	△ 3	△ 35,000	51	665,000	2	45,000	
四倉	47	500,000	47	493,000	0	△ 7,000	43	480,000	△ 4	△ 13,000	
遠野	38	380,000	36	360,000	△ 2	△ 20,000	35	350,000	△ 1	△ 10,000	
小川	18	180,000	17	170,000	△ 1	△ 10,000	19	190,000	2	20,000	
好間	46	480,000	46	475,000	0	△ 5,000	50	510,477	4	35,477	
三和	18	200,000	17	200,000	△ 1	0	15	170,000	△ 2	△ 30,000	
田人	16	160,000	19	190,000	3	30,000	22	220,000	3	30,000	
川前	9	110,000	9	110,000	0	0	8	100,000	△ 1	△ 10,000	
久之浜・大久	18	210,000	17	200,000	△ 1	△ 10,000	19	220,000	2	20,000	
計	722	8,460,000	728	8,513,477	6	53,477	711	8,180,477	△ 17	△ 333,000	

令和6年度 福島県共同募金会いわき市共同募金委員会「共同募金」実績

令和7年3月24日現在(単位:円)

	平	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・大久	本部	計
戸別募金	19,185	16,670	11,354	7,921	5,777	4,089	1,406	1,971	2,930	764	466	367	1,135	0	74,035 戸
	9,585,950	8,338,900	5,537,070	3,964,800	2,750,200	2,044,500	703,000	981,900	1,448,300	382,000	233,000	183,800	567,500	0	36,720,920
街頭募金	5	5	7	3	2	1	0	0	2	0	0	0	0	1	26 件
	35,904	47,553	95,107	67,043	17,695	18,436	0	0	28,322	0	0	0	0	19,216	329,276
法人募金	4	5	16	9	2	12	5	16	15	0	0	0	1	209	294 件
	23,000	40,000	106,000	49,000	15,000	105,000	30,000	135,000	140,000	0	0	0	10,000	3,223,582	3,876,582
学校募金	23	17	13	11	11	7	2	3	6	1	1	0	3	0	98 校
	802,899	372,508	216,012	240,715	173,334	82,513	28,380	45,343	76,936	13,100	15,132	0	18,935	0	2,085,807
職域募金	115	31	32	21	30	13	5	8	8	7	7	4	4	10	295 件
	446,989	99,200	178,799	85,084	209,058	24,400	8,800	13,850	25,887	19,000	6,600	5,100	6,300	147,020	1,276,067
イベント募金	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	0	0	1	0	7 件
	0	0	0	32,593	0	0	20,287	12,227	0	16,167	0	0	30,105	0	111,379
個人募金	1	1	0	1	1	0	0	0	5	0	0	0	4	0	13 件
	1,624	4,103	0	711	100,000	0	0	0	16,800	0	0	0	13,558	0	136,796
その他の募金	93	6	4	12	1	7	4	2	1	1	4	2	1	4	142 件
	66,622	30,666	26,510	54,086	245	10,903	26,845	107	122	30	4,289	1,253	51	85,458	307,187
実績額合計①	19,426	16,735	11,426	7,980	5,824	4,129	1,424	2,001	2,967	774	478	373	1,149	224	74,910 件
	10,962,988	8,932,930	6,159,498	4,494,012	3,265,532	2,285,752	817,312	1,188,427	1,736,367	430,297	259,021	190,153	646,449	3,475,276	44,844,014
目標額 ②															
	11,464,000	9,100,000	6,222,000	4,517,000	1,927,000	2,355,000	815,000	1,092,000	1,700,000	484,000	263,000	208,000	678,000	3,470,000	44,295,000
目標達成率(%):①/② × 100	95.6%	98.2%	99.0%	99.5%	169.5%	97.1%	100.3%	108.8%	102.1%	88.9%	98.5%	91.4%	95.3%	100.2%	101.2 %
前年度第3回(R5.1.25)報告 実績額 ③	20,647	17,090	12,036	8,180	3,257	4,205	1,466	2,026	3,010	882	483	387	1,200	591	75,460 件
	11,463,895	9,099,151	6,222,143	4,516,988	1,926,150	2,354,410	815,403	1,091,730	1,700,856	484,847	263,852	208,171	678,209	3,793,902	44,619,707
前年度最終実績額 ④															
	11,485,930	9,099,151	6,222,147	4,522,675	2,006,339	2,354,412	815,403	1,091,730	1,700,857	484,847	263,852	208,171	679,768	3,562,032	44,497,314
実績額比較増減 ①③															
	△ 500,907	△ 166,221	△ 62,645	△ 22,976	1,339,382	△ 68,658	1,909	96,697	35,511	△ 54,550	△ 4,831	△ 18,018	△ 31,760	△ 318,626	224,307

令和6年度いわき市共同募金委員会歳末たすけあい募金実績及び配分結果について

令和6年4月1日～令和7年3月24日現在(単位:円)

目	標額	実績額	目標達成率(%)③=②/①×100	前年度実績額④	実績額比較増減⑤=②-④	平	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・大久	本部	計			
① 寝たきり高齢者世帯	6,088,000	5,105,000	3,384,000	2,448,000	931,000	1,250,000	434,000	601,000	881,000	341,000	142,000	114,000	350,000	1,196,000	23,265,000								
② ひとり暮らし高齢者世帯	5,719,826	5,059,604	3,330,128	2,372,613	1,675,028	1,227,596	424,863	586,927	858,065	329,622	140,001	110,610	347,929	1,155,912	23,338,724								
③ 高齢者のみの世帯	94.0	99.1	98.4	96.9	179.9	98.2	97.9	97.7	97.4	96.7	98.6	97.0	99.4	96.6	100.3 %								
④ 知的障がい児者世帯	6,087,603	5,104,403	3,383,734	2,447,902	930,450	1,250,001	434,600	600,900	880,800	340,900	142,700	114,500	350,900	1,207,254	23,276,647								
⑤ 身体障がい児者世帯	△367,777	△44,799	△53,606	△75,289	744,578	△22,405	△9,737	△13,973	△22,735	△11,278	△2,699	△3,890	△2,971	△51,342	62,077								
⑥ ひとり暮らし高齢者世帯	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7人	4世帯		
⑦ 高齢者のみの世帯	26,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49,000		
⑧ 知的障がい児者世帯	60	55	18	13	9	10	6	6	6	6	8	2	2	5	5	0	0	0	0	0	209人	209世帯	
⑨ 身体障がい児者世帯	600,000	550,000	180,000	130,000	90,000	100,000	60,000	60,000	60,000	60,000	80,000	20,000	50,000	20,000	0	0	0	0	0	0	2,090,000	2,090,000	
⑩ ひとり親世帯	14	7	2	1	4	2	1	0	0	0	2	1	3	2	0	0	0	0	0	0	47人	24世帯	
⑪ その他世帯	91,000	65,000	13,000	26,000	65,000	13,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	309,000	309,000	
⑫ 在宅見舞金配分合計(A)	5	3	8	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28人	13世帯	
⑬ 在宅見舞金事務費合計(B)	36,000	52,000	19,000	29,000	0	26,000	0	13,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	175,000	175,000	
⑭ 合計 (C)=(A)+(B)	22	6	3	1	7	5	4	1	5	3	6	2	3	1	0	0	0	0	0	0	66人	26世帯	
⑮ ひとり親世帯	108,000	16,000	56,000	19,000	36,000	32,000	16,000	0	52,000	0	0	0	19,000	16,000	0	0	0	0	0	0	380,000	380,000	
⑯ その他世帯	111	39	194	72	18	7	8	2	27	8	20	7	7	2	0	0	0	0	0	0	427人	151世帯	
⑰ 在宅見舞金配分合計(A)	606,000	1,086,000	103,000	38,000	137,000	109,000	0	58,000	35,000	23,000	13,000	29,000	48,000	29,000	0	0	0	0	0	0	2,338,000	2,338,000	
⑱ 在宅見舞金事務費合計(B)	18	7	46	14	15	4	5	2	2	1	0	0	3	2	2	1	5	2	9	3	0	113人	40世帯
⑲ 合計 (C)=(A)+(B)	103,000	236,000	73,000	29,000	13,000	29,000	10,000	0	23,000	13,000	13,000	29,000	48,000	29,000	0	0	0	0	0	0	619,000	619,000	
⑳ 在宅見舞金配分合計(A)	234	124	317	152	64	36	47	24	10	8	18	11	24	14	15	13	14	7	43	17	3	897人	467世帯
㉑ 在宅見舞金事務費合計(B)	1,570,000	2,015,000	444,000	271,000	341,000	309,000	86,000	131,000	170,000	136,000	106,000	91,000	248,000	248,000	0	0	0	0	0	0	5,960,000	5,960,000	
㉒ 合計 (C)=(A)+(B)	348,000	258,000	184,000	138,000	102,000	72,000	34,000	44,000	50,000	32,000	34,000	22,000	38,000	38,000	0	0	0	0	0	0	1,366,230	1,366,230	
㉓ 合計 (C)=(A)+(B)	1,918,000	2,273,000	628,000	409,000	443,000	381,000	120,000	175,000	220,000	168,000	140,000	113,000	286,000	286,000	0	0	0	0	0	0	7,326,230	7,326,230	
㉔ 介護用防水シート給付事業	16	8	15	3	5	3	4	1	4	4	6	3	21	100名									
㉕ ひとり暮らし高齢者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	473,550	473,550	
㉖ 児童養護施設・補修等(障がい児者)支援事業	3	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14件									
㉗ 児童養護施設・補修等(障がい児者)支援事業	59,569	70,615	33,220	12,269	0	0	0	0	0	0	0	0	8,150	183,823									
㉘ 福祉情報誌配付事業	3,200	2,100	1,350	900	1,200	350	550	700	400	250	200	350	1,200	14,000部									
㉙ 子育てサロン・子育て支援事業	132	78	43	42	16	19	17	23	0	28	0	13	1,723,480	1,723,480									
㉚ 小規模障がい(児)者通所施設・施設未支援事業	65,455	38,731	21,500	20,800	8,000	9,500	8,500	11,500	0	14,000	0	6,500	218,356	218,356									
㉛ 児童養護施設・補修等(障がい児者)支援事業	670	25	401	13	19	1	0	69	3	0	0	0	0	1,577	57施設								
㉜ 児童養護施設・補修等(障がい児者)支援事業	658,693	338,274	231,147	68,000	107,029	19,000	0	69,000	0	0	0	0	42,510	1,533,653									
㉝ 児童養護施設・補修等(障がい児者)支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	268,663	268,663									
㉞ クリスマス支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186,661	186,661									
㉟ 親子ふれあいイベント事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	214,269	214,269									
㊱ 施設未支援地区事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7事業	7事業									
㊲ 年末年始地域ささえあい事業	5	3	3	3	1	2	0	3	0	0	0	0	6,000	743,465									
㊳ 合計 (D)	1,319,917	570,742	467,267	142,069	215,529	58,000	289,900	8,500	185,500	65,000	192,465	131,000	169,650	3,336,083	7,157,622								
㊴ 配分総額 (C)+(D)	3,237,917	2,843,742	1,095,267	551,069	658,529	439,000	409,900	183,500	405,500	233,000	332,465	244,000	455,650	3,388,313	14,483,852								

【募金実績額 23,338,724円＝配分総額 14,483,852円＝剰余金 8,854,872円】 剰余金 8,854,872円は福島県共同募金会へ送金